

会長のページ 会長退任のご挨拶	稲倉 正孝	3
日州医談 平成 26 年度診療報酬改定について	河野 雅行	4
宮崎県医師会役員等選挙当選人名簿		7
エコー・リレー(466)	中村 邦子, 系数 智美	9
専門分科医会だより(放射線科医会)	田村 正三	10
メディアの目 転向	加藤 学	12
ニューメンバー	小田 康晴, 入澤 壮吉	40
診療メモ がんの周術期の口腔機能管理における医科歯科連携について 錦井 英資		64

あなたできますか?(平成 25 年度医師国家試験問題より)	11
宮崎県感染症発生動向	14
各都市医師会だより	16
九州医師会連合会第 33 回常任委員会	18
都道府県医師会 新たな財政支援制度担当理事連絡協議会	20
薬事情報センターだより(325) 新薬紹介(その 69)	25
日医インターネットニュースから	26
理 事 会 日 誌	28
県 医 の 動 き	33
追悼のことば	35
会員の異動・変更報告	36
ベストセラー	39
ドクターバンク情報	41
行 事 予 定	45
医師協同組合だより	49
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	50
あ と が き	70

~~~~~

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| お知らせ クールビズについて .....               | 6  |
| 「はまゆう随筆」原稿募集 .....                 | 13 |
| 宮崎県医師会メーリングリストのご案内 .....           | 19 |
| 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています .....       | 47 |
| 第 15 回宮崎県医師会医家芸術展作品募集！ .....       | 67 |
| 郡市医師会への送付文書 .....                  | 68 |
| 告 知 第 16 回宮崎県医師会定例代議員会開催 .....     | 8  |
| ご 案 内 平成 26 年度第 71 回宮崎県医師会総会 ..... | 8  |

## 医 師 の 心 得

- 1 . 私たちは、皆さまの  
健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに  
最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに  
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの  
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの  
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品 水墨〕

尺

診療所の花壇に咲くガクアジサイです。

周辺の花びらが開いて額縁のように見えます。

微妙な色あいがすてきですが、写しとることはできませんでした。冬になると枯れたように見えますが、春の陽気と共に今年も元気に葉をのばしています。今年も楽しみです。 宮崎市 やま うち つとむ  
山 内 励

## 会長のページ

## 会長退任のご挨拶

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

この度、平成 26年 6 月 21日に宮崎県医師会会長を退任することになりました。平成 20年 4 月より、6 年 3 か月大過なく会務を遂行できたことは、会員の皆様をはじめ、役員・職員・関係各位のご指導・ご協力によるものと心より感謝申し上げます。振り返れば、前県医師会長の秦喜八郎先生のもとで、10年間、総務・医療保険担当の常任理事として勉強させていただいたことが大変役立ったと感謝しています。

国の法人制度改革の方針に従って、宮崎県医師会は平成 24 年 4 月 1 日から、公益社団法人として新たにスタートしました。役員・職員が一丸となって、県行政・顧問公認会計士の指導のもとに大きな混乱もなく、移行できました。しかし、会計担当の常任理事として、中心になって活躍していただ

た佐藤雄一先生が公益法人化後間もなく、平成 24年 10月 25日に急逝されました。先生の誠実で飾り気のない、温かいお人柄は子どもたち、地域の人々、多くの患者さんからの信望も厚く、公務としては、県小児科医会長・国保審査委員を長年にわたり務められてきました。誠に、残念痛恨の極みで、衷心より哀悼の意を捧げる次第であります。

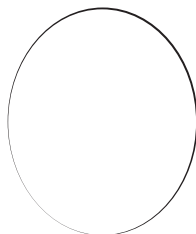
会長在任中に大きなイベントとして、第 112回九州医師会総会・医学会を平成 24年 11 月 24日・25日の 2 日間にわたってシーガイアで開催させていただきました。医学会の特別公演には文化功労者で宮崎大学名誉教授の松尾壽之先生と宮崎大学教育文化学部教授の竹井成美先生のお二人にお願いしました。お二人の講演は、非常に分かりやすく、しかも内容の濃いもので、大変好評でした。その他、7 つの分科会及び 5 つの記念行事が行われました。ご協力いただきました会員・役員・職員の皆様に大変ご苦勞をおかけしましたが成功裏に終ることができました。ただただ感謝あるのみです。

現在、日本はどの国も経験したことのないスピードで少子高齢化・人口減の社会に進んでいます。しかも、巨額の借金を抱え、政府は医療費抑制策を強化しようとしています。平成 26年 4 月の診療報酬改定は、薬価切り下げ分を考慮すると、1.26%の引き下げでした。横倉義武日本医師会長を中心とした懸命の努力にもかかわらず、診療報酬本体で 0.1%のプラス改定でしたが、薬価・材料の切り下げ分( 1.36% )が診療報酬本体の改定財源に充てられませんでした。しかし、社会保障・税一体改革への対策として、医療法等の改正により創設される 904億円の基金で対応することになりました。本基金は消費税増税に伴う処置で次年度以降も続く予定で、交付は官民公平とされており、充実した計画の立案が求められています。

昨年、日本医師会は「日本医師会綱領」を策定しました。わが国の宝である公的国民皆保険を柱に、医師が大同団結し、郡市区等医師会、都道府県医師会、日本医師会がそれぞれの役割を果たしながら、わが国の優れた医療システムを確立していくことが必要です。政府がすすめようとしている「混合診療の全面解禁」、「選択療養」、「特区での自由診療」のように、医療を市場原理主義の自由競争に委ねれば、公的国民皆保険は崩壊し、平等で安全・安心の医療が失われることになります。最後になりましたが、皆様方の長年にわたってのご指導・ご協力に心より感謝いたします。今後は、一会員として医師会活動に参加して参りますので、宜しく願いいたします。

(平成 26年 6 月 2 日)

## 日州医談



## 平成 26 年度診療報酬改定について

副会長 かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

平成 26 年度の診療報酬改定がなされた。既に諸方面から多数の報告がされているので屋上屋を重ねる嫌いもあり、詳細については触れないが、幾つかの項目につき私見を述べさせていただく。

今回は 0.1% のプラス改定とされていても実質は - 1.26% で厳しいものであった。しかし、過去数回のマイナス改定の惨状や我が国の財政の現状からすれば日医の努力の成果が見られ、止むを得ない結果との評論もある。

今回の特徴は高齢者が最多となる 2025 年問題に向けて明確な道筋が示されたことで、当然、医療費・介護費用が増加するものと推定される。その様な事態でも良好な医療・介護を提供するために、不足しがちな予算を上手く配分・利用して、維持できる体制を再構築するのが最大の目標であると説明されている。厚労省によると、昨年 8 月に出された社会保障制度改革国民会議等から出された報告に基づき今回の方針が立てられたもので、今までにも様々な手段が講じられていた。今回の改定はその為の道筋が明確に示されたものと言える。

主たるものとして 医療機能の見直しと再構築が諮られた、在宅医療の強化・充実が諮られた。そのための具体的な方策が採られている。

## 消費税

5 % から 8 % に増税されるにあたり様々な案が提出された結果、初診料・再診料への上乘せ

での対応となっている。<sup>そくぶん</sup> 仄聞するところによると、様々な経緯・理由で日医としてはこの案で了承せざるを得なかった模様。今回は初診料・再診料での対応であるも、10% 増税の際には抜本的な対応をするとの由である。軽減税率の採用や貿易等に採用されている還付方式等々の案が出されている。しかし抜本的な改定をするには法律の改定まで必要となり、期限が 1 年半しか無い中で可能なのか？単なる先延ばしではないか？との懸念が払拭できない。更に、消費税は将来 10% に止まらないとの識者の予測も出ており、我々も注意深くチェックしていく必要がある。

## 有床診療所

入院から在宅まで、有床診療所の持つ多機能の利点がようやく認知され、先輩方の努力が実を結んできた。今回の改定では入院基本料のアップが図られた。勿論充分とは言えないが、過去の対応に比べれば大いに評価される。更には種々の加算が設定されており、上手く加算が請求出来れば相当な額になるはずである。しかし後に述べる様に加算要件が厳しくハードルは高いままである。従って、この程度の改定では有床診療所の減少傾向に歯止めがかかるとは思えない。

ここで診療報酬とは直接関連しないが、昨年の有床診療所火災事故を端緒に急遽防火対策の強化が図られた。具体的にはスプリンクラー設置や通報装置設置、防火ドアの設置、避難訓練

の徹底等である。しかし、補助金の額も不十分であるし、標準型か簡易型かその他のなか何れのタイプも未だ結論が出ていない状態である。今にも起こり得る災害にそのような緩慢な対応で、大丈夫なのか？これを機会に有床診療所から撤退する動きが加速されるのが懸念される。国の積極的な対応を望む。

#### 外来医療

先に消費税の項目で述べた様に、初診料・再診料がアップした。しかし、これはあくまでも消費税対策であって、診療報酬のアップではない。地域医療を維持するには今以上の減点があってはならず、むしろ大幅な増点が望まれる。

#### 入院医療

前回改定で所謂 <sup>いわゆる</sup>7 1 看護，10 1 看護等の体制が作られた。当然ながら可能性のある医療機関は配置点数の高い体制を目指し、国の想定をはるかにオーバーして7 1 看護が36万床となり、トップヘビーの形になった。当然医療費も高騰しており、更に弊害も出た。全国から看護師をかき集めたために、慢性的な看護師不足に拍車をかける事態に至った。今回の改定では見直されることになり、国の方針では2年間で9万床減らし、2025年までには18万床に半減させる計画であるとも言われている。折角作り上げた体制をいとも簡単に変更されては大病院といえどもたまったものではない。朝令暮改でないしっかりした医療計画を講じていただきたい。

#### 在宅医療

在宅医療への流れが医療機関からも老健施設からもあらゆる所に求められている。以前から様々な取組みがなされているにも関わらず、残念ながら未だに医療・介護関係者と行政間の連携が充分とは言えない。そのために地域包括支援センター等の整備が図られて在宅への流れをサポートする仕組みが目論まれた。これらのサポートによって第一線医師が在宅医療に取り組

みやすい仕組みが考えられている。しかし、現状では未だシステムの整備が不十分で、しかも充分機能しているとは言えない。更に、在宅へと簡単に言っても帰るべき家のない高齢者が多く、自宅の代わりとなる施設入居が増えているのが現状で、その様な事情の中で同一建物（施設）への訪問診療が大幅に制限されることになった。これは在宅医療を進める観点からすると矛盾・逆行している感は否めない。日医はこの点も問題として是正を求めている。今の段階で、強制的に先ず在宅ありきでは、直ぐにハードの面でもソフトの面でも対応不足が露わになるのは目に見えている。在宅医療の必要性は理解出来るとしても現在は実現不可能な要素が多い様だ。社会全体の体制の整備を同時に進めるべきであると思われる。

#### 加算について

今回も様々な加算項目が設けられ、全部を合算すれば相当なアップになると思われる。しかし、画餅加算とでも言うべきか、今までの例に漏れずにその算定条件のハードルが高過ぎて、現実には殆どが算定し難い設定となっている。例えば主治医機能の評価として地域包括診療料1,503点が設けられたが、これは算定要件が厳しくて、大多数の小規模医療機関ではとても算定が出来ない。折衷案として、日医の要望で緩やかで算定し易いものとして地域包括診療加算20点を設けた。これは前記の地域包括診療料に比べれば、算定要件が多少緩やかではあるものの、原則としては医師の数、看取りの数、24時間対応等々やはり算定要件が厳しい。あるアンケート結果によると、諸条件を勘案して登録を希望しない医療機関が相当数ある様である。

#### 医療の制限

様々な要件から医療の引き剥がしが目論まれている。期限猶予付きではあるが、リハビリの一部は介護へのシフトが諮られている。うがい

薬や市販薬品等や簡単な処置は包括化され健康保険から除外されようとしている。さらに、所謂、混合診療の拡大・推進を唱える政府関係者もいる。これ等の例も蟻の一穴の例え通り、徐々に拡大される懸念がある。

#### 指導・監査

最近の傾向として厚生局指導・監査が強化されて返還の流れが既定となってきた印象があり、毎年の返還額も全国で 50 億円前後に上っている。膨大な内容量の青本や 2 年毎に改定される項目や頻繁に出される諸通達を完全に理解するのは殆ど不可能に近く、誤った解釈を続けていると

悪質と見做される場合もある。悪質と見做されれば保険医・保険医療機関取り消し処分もあり得るし、医科歯科合わせて毎年数十件ある。

このような状況から一方で譲歩したかと思うと一方では厳しくして、最後に帳尻を合わせる様になっているのではないかと邪推してしまう。

幾つかの項目につき私見を交えて述べたが、いずれにしても診療報酬改定については改定直前に対応するには時期を失している。我々が日頃から注意深くチェックし要望していく必要が痛感される。

### お知らせ

## クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成 26 年 5 月 1 日より平成 26 年 10 月 31 日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 公 示

## 宮崎県医師会役員等選挙当選人名簿

【任期】平成 26年 6 月 21日の定例代議員会終結後～平成 28年 6 月の定例代議員会終結時

| 役職名            | 氏 名   | 所属都市医師会       | 再任<br>新任 | 役職名            | 氏 名   | 所属都市医師会       | 再任<br>新任 |
|----------------|-------|---------------|----------|----------------|-------|---------------|----------|
| 代議員会<br>議 長    | 渡邊 康久 | 日向市東臼杵郡医師会    | 新        | 理 事            | 糸数 智美 | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 新        |
| 代議員会<br>副 議 長  | 岩見 晶臣 | 西都市西児湯医師会     | 新        |                | 内村 大介 | 西 諸 医 師 会     | 新        |
| 会 長<br>候 補 者   | 河野 雅行 | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 新        | 監 事            | 赤須 巖  | 延 岡 市 医 師 会   | 再        |
| 副 会 長<br>候 補 者 | 富田 雄二 | 西都市西児湯医師会     | 再        |                | 中村 周治 | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 再        |
|                | 濱田 政雄 | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 新        |                | 小牧 文雄 | 都城市北諸県郡医師会    | 再        |
| 理 事            | 立元 祐保 | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 再        | 裁定委員           | 楠元 正輝 | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 再        |
|                | 吉田 建世 | 延 岡 市 医 師 会   | 再        |                | 千阪 治夫 | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 再        |
|                | 小牧 斎  | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 新        |                | 貴島 亨  | 都城市北諸県郡医師会    | 再        |
|                | 荒木 早苗 | 宮崎大学医学部医師会    | 再        |                | 日高 隆徳 | 延 岡 市 医 師 会   | 新        |
|                | 池井 義彦 | 西 諸 医 師 会     | 再        |                | 浦上 裕  | 日向市東臼杵郡医師会    | 新        |
|                | 牛谷 義秀 | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 再        |                | 糸井 達雄 | 児 湯 医 師 会     | 再        |
|                | 金丸 吉昌 | 日向市東臼杵郡医師会    | 再        |                | 宇和田 収 | 西都市西児湯医師会     | 新        |
|                | 佐々木幸二 | 都城市北諸県郡医師会    | 再        |                | 山口 和彦 | 南 那 珂 医 師 会   | 再        |
|                | 高村 一志 | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 再        |                | 宮崎 裕三 | 西 諸 医 師 会     | 再        |
|                | 上田 章  | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 再        |                | 興梠 知子 | 西 臼 杵 郡 医 師 会 | 新        |
|                | 峰松 俊夫 | 南 那 珂 医 師 会   | 再        | 日 医 員<br>代 議 員 | 石田 康  | 宮崎大学医学部医師会    | 新        |
|                | 川野啓一郎 | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 新        |                | 河野 雅行 | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 再        |
|                | 佐藤 信博 | 延 岡 市 医 師 会   | 新        |                | 富田 雄二 | 西都市西児湯医師会     | 再        |
|                | 佐々木 究 | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 新        |                | 濱田 政雄 | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 新        |
|                | 岩村 威志 | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 新        | 日医予備<br>代 議 員  | 立元 祐保 | 宮 崎 市 郡 医 師 会 | 再        |
|                | 米澤 勤  | 児 湯 医 師 会     | 新        |                | 渡邊 康久 | 日向市東臼杵郡医師会    | 再        |
|                | 鯨島 浩  | 宮崎大学医学部医師会    | 新        |                | 永友 和之 | 児 湯 医 師 会     | 再        |
|                |       |               |          |                | 岩見 晶臣 | 西都市西児湯医師会     | 新        |
|                |       |               |          |                | 飯田 正幸 | 都城市北諸県郡医師会    | 新        |

平成 26年 5 月 2日 第 159回臨時代議員会で選任

平成 26年 6 月 21日の臨時理事会で会長候補者・副会長候補者を会長・副会長に選定

平成 26年 6 月 21日の臨時理事会で理事の中から常任理事を選定

## 告 知

## 第 160 回宮崎県医師会定例代議員会開催

と き 平成 26 年 6 月 21 日(土) 15 45~

ところ 宮崎県医師会館 5 階会議室

## 次 第

1. 議長開会宣言
2. 議事録署名人選出
3. 県医師会長挨拶
4. 報 告

5. 議 事
6. 協 議
7. その他
8. 議長閉会宣言

## ご 案 内

第 7 回総会を開催し、各種表彰等を行いますので、是非ご出席ください。

## 平成 26 年度第 71 回宮崎県医師会総会

と き 平成 26 年 6 月 21 日(土) 17 00~ 17 50

ところ 宮崎県医師会館 2 階研修室

## 次 第

1. 開 会
2. 物故会員に対する弔意黙祷
3. 県医師会長挨拶
4. 役員紹介
5. 来賓祝辞及び来賓紹介(祝電披露)

6. 各種表彰祝賀
7. 報 告
8. 閉 会

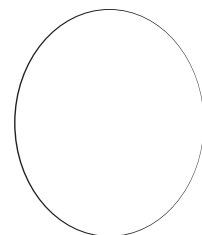
クールビズでの開催となります。

## エコー・リレー

( 46回 )

( 南から北へ北から南へ )

## 父との思い出

宮崎市 中村内科放射線科 <sup>なか</sup> <sup>むら</sup> <sup>くに</sup> <sup>こ</sup>  
中 村 邦 子

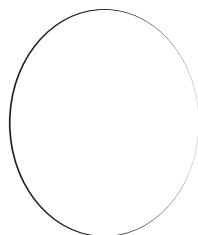
平成 5 年 5 月、父から診療を受け継ぎ、開業して 20 年となります。父は最初有床診療所として開業しており、建物の 1 階に自宅兼診療所があり、2 階は病室となっていました。

朝から晩まで診療に忙しく、往診もおこなっており、家族とゆっくり食事をした記憶や、遊んでもらった記憶もありません。人手が足りない時、母や妹と、入院患者さんの配膳介助を手伝ったことを思い出します。平成 5 年当時は無床診療所として診療をおこなっていましたが、診察業務に加えて、嘱託医、産業医など数々の業務をかわりに続けなければならず、四苦八苦したことを覚えています。以前より困難なことに出会ったとき、逃げるばかりでなく、どうやったらその山をのりこえられるか考えなさい、仕事はずっと続けなさい、休んではいけないと教えられていました。右も左もわからなかった当時、医師会の諸先輩方や、当時の従業員の方々、及び患者さんに支えられ教えていただき、どうにか診療を継続することができ感謝しております。

最近の医療の変化にはめまぐるしいものがあります。ネット社会に左右されず、うまく使いこなさなくてはならないと考えています。この多様化した社会で多職種と連携をはかりながら、一步一步進んでいけたらと思います。今後もご指導よろしくお願いします。

〔 次回は、宮崎市の杜若 陽祐先生をお願いします 〕

## 親に感謝

宮崎市 どんぐりこども診療所 <sup>いと</sup> <sup>かず</sup> <sup>さと</sup> <sup>み</sup>  
糸 数 智 美

医者になり 30 年が経った。

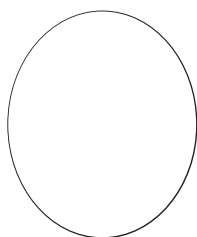
3 人の子どもを授かり 1 人を失った。子育ての数年間、専業主婦の時期もあったが、常に私を支えてくれたのは両親である。

父は、国語の中学教師。頑固で厳格な父は現場では「偏屈者」だったが、家庭では物静かで優しい飲兵衛の「父ちゃん」だった。中学生の時スランプに泣いた翌朝、1 枚のメモが机上にあった。「<sup>かんなん</sup> 艱難汝を玉にす」。以来、58 歳で他界した後もずっと私を支え続けてくれている。母は、専業主婦である。父は母に外での仕事をさせなかった。「ただいま」と帰れば「お帰り」と迎えてくれる、雨が降れば傘を持って迎えに来てくれる、姉妹お揃いの手作りの服、毎日の楽しみな夕飯…。私の理想は母だった。しかし選んでしまった医師の道。大学卒業の頃、理想の母と現実との狭間で苦悩した私に父は言った。「一事が万事。仕事を一生懸命する人は子育ても手を抜かない。逆もまた然り」自分の妻には絶対仕事をさせなかった父からの意外な言葉は、なぜか「ずるい」とは思えなかった。素直に「やってみよう」と勇気が湧いた。主婦専業期間のみならず、復帰後も学校役員、地区行事には積極的に参加した。やればできた。今でも当時の体験は私の宝物だ。もちろん、母の絶大なる支援があつてこそ。今年 7 歳になった母は、テニスにダンスにと毎日忙しい。デュアルタスクをこなす曾野綾子さんの「<sup>おきな</sup> 老いの才覚」を地で行く母は、今も私の最も尊敬する女性である。

〔 次回は、延岡市の宝珠山 厚生先生をお願いします 〕

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り

## (放 射 線 科 医 会)

たむら しょうぞう  
田村 正三 会長

3 月末をもって 2 年間勤めた宮崎大学を定年退職しました。この間皆様からの様々なご厚情を感謝いたします。放射線科医会長は次の教授が決まり次第引き継ぐことになります。

宮崎大学を退任するに当たり、宮崎大学の放射線診療を見返し宮崎県の放射線診療の問題点を考察してみました。

宮崎医科大学は昭和 49 年の創設です。当時大学病院は建設中。時代も CT, MRI, PET 前で画像診断は単純写真、消化管や血管の造影検査の時代でした。この時の医療事情に基づき新病院の人員配置が行われ、それが基本的に現在まで踏襲されてきました。その後、昭和 50 年代になって CT, MRI が相次いで診療現場に登場し、それらは年々性能が向上し日々の検査件数や 1 例あたりの画像枚数も上昇の一途です。CT を例にとると昭和 50 年には年間 0 例だったものが検査件数と 1 例あたりの画像枚数は年ごとに漸増し、平成 25 年には年間 18,000 件を超すまでになりました。もちろんこの間、MRI や PET も診療に導入され、MRI が年間 10,000 件、PET が 5,000 件とそれぞれ目覚ましく進化し増加しています。当然、同じ状況が県立病院など県内の基幹病院で起こっています。大学病院では日々の検査と読影に忙しく、研究や教育に手が回らない事態になっており、新研修医制度施行以来入局者の減少に悩む地方大学の放射線科には対応が困難です。また、保険診療やリスクマネジメントの観点から画像診断は専門医など専門の人員によって読影されなければならないという考えが出てきました。これに対応するために大学の患者さんに画像検査を専門医のいる最寄りの病院で受けてもらい画像と報告書をネットで取り込む、また、大学で読み切れない症例を信頼できる遠隔画像診断医に託すなどで事態の乗り切りを図っています。

宮崎大学放射線科でも顔の見える遠隔診断をめざして NPO 先端画像宮崎ネットワークを発足させ、近い将来県内の画像診断は宮崎で行う体制づくりに着手しました。

一方、今年から遠隔診断では画像診断管理加算が認められないことになりました。この辺の問題は全国規模で今後も検討を重ねてゆくことになりそうです。

今後も画像検査は精緻の度を増すでしょうし、新たな検査法が登場する可能性も高いと思われます。放射線科医会では新たな事態に対応できるように大学と連携していきたいと思っております。

放射線科医会では引き続き以下の研修会を共催し、県内の興味ある症例を報告するとともに、全国の一流講師を招いて会員の知識の啓発に努めています。平成 24 年度に行った研究会及びその特別講演者は以下の通りです。

1. 宮崎 CT 研究会  
福井大学医学部医学科腫瘍病理学(第一病理学) 准教授 法木 左近
2. 宮崎県核医学研究会  
放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター分子病態イメージング研究プログラム リーダー 佐賀 恒夫
3. 宮崎県画像医学研究会
4. 放射線科医会学術講演会  
宮崎大学医学部 病態解析医学講座救急・災害医学分野 教授 落合 秀信
5. 宮崎 RI カンファレンス  
群馬大学 准教授 樋口 徹也
6. 宮崎血管内治療 IVR 研究会  
東海大学医学部医学科専門診療学系画像診断学領域 専任教授 長谷部 光泉
7. 宮崎 MRI 研究会  
神奈川県立こども医療センター 放射線科部長 相田 典子

(田村 正三)



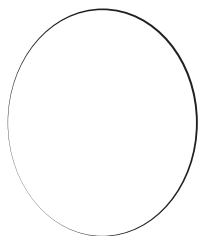
## あなたできますか？

— 平成 25年度 医師国家試験問題より —

( 解答は 32ページ )

- 1 . 先天性風疹症候群でみられないのはどれか。
  - a 大頭症
  - b 白内障
  - c 感音難聴
  - d 胎児発育不全
  - e 動脈管開存症
- 2 . Kaposi水痘様発疹症を合併しやすいのはどれか。
  - a Sweet病
  - b 結節性紅斑
  - c 多形滲出性紅斑
  - d アトピー性皮膚炎
  - e Stevens-Johnson症候群
- 3 . 唇裂・口蓋裂の症候でないのはどれか。
  - a 嚥下障害
  - b 外鼻変形
  - c 構音障害
  - d 歯列異常
  - e 扁桃肥大
- 4 . 縦隔腫瘍について正しいのはどれか。
  - a 胸腺腫は後縦隔に好発する。
  - b 胸腺腫は良性腫瘍に属する。
  - c セミノーマは良性腫瘍に属する。
  - d 神経原性腫瘍は前縦隔に好発する。
  - e 胸腺腫には重症筋無力症を合併する。
- 5 . 外陰腔カンジダ症で誤っているのはどれか。
  - a 痒痒を生じる。
  - b 帯下は泡沫状である。
  - c 抗菌薬服用後に多い。
  - d 原因菌は消化管に常在している。
  - e 膣分泌物の鏡検で菌糸が確認できる。
- 6 . 糖尿病と高血圧の両方をきたす疾患はどれか。
  - a 肝硬変
  - b 慢性膵炎
  - c Cushing病
  - d グルカゴノーマ
  - e Gitelman症候群
- 7 . 旅行者疾患について正しいのはどれか。
  - a 旅行者下痢症では発熱はない。
  - b マラリアで死亡することはない。
  - c 狂犬病は犬以外の動物からは感染しない。
  - d デング熱のワクチンは実用化されていない。
  - e 都道府県知事に届出義務のある疾患はない。
- 8 . 大量被ばく後の放射線障害で、最も遅く発現するのはどれか。
  - a 紅斑
  - b 白内障
  - c 消化管出血
  - d 白血球減少
  - e 生殖機能障害
- 9 . 72歳の男性。散歩中に転倒し前頭部を打ったため心配になって来院した。10年前から高血圧症にて自宅近くの診療所に通院している。転倒の原因を推論するための質問として有用性が低いのはどれか。
  - a 「最近、食欲が増加しましたか」
  - b 「最近、内服薬が変わりましたか」
  - c 「転倒直前に動悸や胸痛はありましたか」
  - d 「転倒直前に目の前が真っ暗になりましたか」
  - e 「転倒直前に片側の手足の力が弱い感じはありましたか」
- 10 . Stanford A型急性大動脈解離が原因とならないのはどれか。
  - a 脳梗塞
  - b 緊張性気胸
  - c 急性冠症候群
  - d 心タンポナーデ
  - e 大動脈弁閉鎖不全

## メディアの目



## 転向

毎日新聞 宮崎支局長

かとう  
加藤まなぶ  
学

あれは、小学 6 年生だったか。辞書で人の体の一部の意味を調べては、教室で友人と盛り上がっていた。もちろん下ネタである。中には挿し絵がある辞書もあり、大いにフィーバーした。「インケイ」なんて言葉を知ったのも、このころだ。「舟を編む」が本屋大賞をとる 40 年前から、辞書の醍醐味を知っていた、ともいえる。

そんなある日、担任の男性教諭が我ら 4 人に居残りを命じた。それぞれ席に座らせた後、教壇に立ち、緊張感に満ちた声で静かに告げた。「目をつぶれ」。なぜ居残りさせられているのか、胸に手を当ててよく考えなさい、といわれ、確信した。「担任に知られた。親に伝わるのか？ ああ、恥ずかしい」。体中がかっと熱くなり、頭がくらくらした。だが、子ども心、男心をよ〜くご存じであった。「このことは俺の胸にしまっておく。今後、2 度とするなよ」。担任は児童、保護者に評判の先生だったのである。

とはいえ、たわいのない遊びになぜそこまでくぎを刺す？ と首をひねったものだ。今思えば、4 人の中には私学を受験するヤツもいた。そっちの方に熱を上げ、学業がおろそかになっては、というオトナの心配だったのだろう。それでも我らの関心はついていることなく、卒業文集の「将

来になりたい職業は？」の欄に、4 人そろって「医者」と記した。

中学 2 年ころだったか。深夜、何気なくついていたテレビ画面に釘付けになった。世界初の原子力空母、米軍のエンタープライズ佐世保入港に反対する運動家と機動隊の攻防を描いたドキュメンタリー番組だった。クライマックスは反対派が築いた佐世保大橋の上のバリケードに、放水を繰り返すシーン。自分が住んでいる町でこんな激しい闘いが繰り広げられていた、という事実には衝撃を受けた。

高校生のころ、新潮社発行の写真週刊誌「FOCUS」が創刊され、佐世保四力町アーケードの書店店頭に並んだ。写真家、藤原新也の作品に目を見張り、記事にうなった。インド辺りで撮影されたその作品は、犬が死んだ人間の足をかじる写真だった。キャプションは「人間は犬に食われるほど自由だ」。食い入るように見入った。

齢を重ねるにつれ、興味の対象は社会現象へと転じ、なりたい職業は「記者」になった。そして現在に至る。

追記。私学に進んだ級友は初志貫徹、風の便りで医師になったと聞く。

## 「はまゆう随筆」原稿募集

7・8月号に夏の恒例となりました「はまゆう随筆」欄を企画致しますので奮ってご投稿をお願い致します。毎年皆様に大変ご好評です。

題 材 診療閑話，私の趣味，旅行記，スポーツ談義，詩，短歌，俳句など何でも結構です。なお，本文に関連した写真・イラスト等も掲載できます。

字 数 800字以内（字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください）

締 切 平成 26 年 6 月 28 日(土)

原稿には「はまゆう随筆」である旨とタイトル，ご氏名を先頭に付記して下さい。

掲載については，広報委員会にご一任下さいますようお願い致します。

掲載はお一人，1 編とさせていただきます。

ご投稿の原稿が他誌に掲載，または投稿中の場合はその旨お知らせ下さい。

原則として原稿はお返し致しません。返送を希望される方はその旨ご指示下さい。

原稿の内容については，人権・プライバシーに十分な配慮をお願いします。

日州医事は，会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し，日州医事原稿専用アドレス( genko @m iyazaki. m ed. or. jp )宛お送りください。もちろん，それ以外の方法( FAX ，郵便等 )でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E m ail: genko @m iyazaki. m ed. or. jp

〒 880 - 0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101

FAX 0985 - 27 - 6550 TEL 0985 - 22 - 5118

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 4 月 ～

平成 26 年 3 月 31 日 ～ 平成 26 年 4 月 27 日( 第 14 週 ～ 17 週 )

## ■ 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類 ○ 結核 18 例：保健所別報告数を【図 1】に示した。  
患者が 14 例，無症状病原体保有者が 2 例，疑似症患者が 2 例で，患者は肺結核が 10 例，その他の結核では結核性胸膜炎が 2 例，尿路結核が 1 例，頸部リンパ節結核が 1 例であった【表 1】。  
男性 7 例・女性 11 例で，年齢別報告数を【表 2】に示した。

3 類 ○ 腸管出血性大腸菌感染症 3 例：宮崎市保健所管内で 2 例，小林保健所管内で 1 例報告された。  
・患者は 2 歳で，腹痛，水様性下痢，血便，嘔吐，発熱，溶血性尿毒症症候群（HUS）がみられた。原因菌の O 血清型は O 157（VT 1，2 産生）。  
・患者は 50 歳代で，腹痛，水溶性下痢，血便がみられた。原因菌の O 血清型は O 157（VT 1，2 産生）。  
・患者は 50 歳代で，無症状病原体保有者。O 血清型不明（VT 1 産生）。

4 類 ○ 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）2 例：宮崎市保健所管内で 1 例，延岡保健所管内で 1 例報告された。  
・患者は 70 歳代で，発熱，神経症状，腹痛，下痢，嘔吐，食欲不振，全身倦怠感，血小板減少，白血球減少，出血傾向，紫斑，消化管出血，刺し口がみられた。  
・患者は 80 歳代で，発熱，神経症状，下痢，食欲不振，血小板減少，白血球減少がみられた。発症して約 10 日後に死亡。

5 類 ○ ウイルス性肝炎（B 型）1 例：宮崎市保健所管内で報告された。患者は 30 歳代男性で全身倦怠感，褐色尿，肝機能異常，黄疸がみられた。  
○ 侵襲性肺炎球菌感染症 1 例：宮崎市保健所管内で報告された。患者は 70 歳代で発熱，咳がみられた。  
○ 梅毒 2 例：高鍋保健所管内で 1 例，日向保健所管内で 1 例報告された。  
・患者は 10 歳代男性で早期顕症梅毒（期）硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹（無痛性）がみられた。  
・患者は 40 歳代男性で早期顕症梅毒（期）扁平コンジローマがみられた。

## ■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 4,750 人（定点あたり 127.8）で，前月比 70% と減少した。また，例年の 86% と少なかった。

前月に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱，手足口病で，減少した主な疾患はインフルエンザ，RS ウイルス感染症であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は咽頭結膜熱，感染性胃腸炎，手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 1,304 人（22.1）で前月の約 3 割，例年の約半分であった。小林（47.4），中央（46.5），日南（40.6）保健所からの報告が多く，年齢別では 5 歳以下が全体の 29%，6～9 歳が 27%，10～14 歳が 16%，15～19 歳が 4%，20 歳代～50 歳代が 19%，60 歳以上が 5% を占めた。

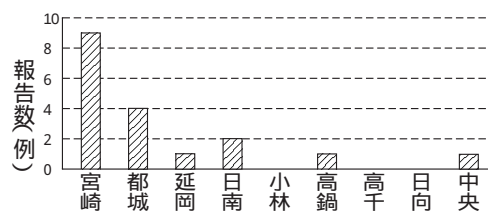


図 1 結核 保健所別報告数

表 1 結核 病型別報告数( 例 )

|           |    |
|-----------|----|
| 肺結核       | 10 |
| その他の結核    | 4  |
| 無症状病原体保有者 | 2  |
| 疑似症患者     | 2  |

表 2 結核 年齢別報告数( 例 )

| 40歳代 | 50歳代 | 70歳代 | 80歳代 | 90歳代 |
|------|------|------|------|------|
| 2    | 2    | 5    | 8    | 1    |

前月との比較

|                    | 2014 年 4 月 |              | 2014 年 3 月 |              | 例年との比較 |
|--------------------|------------|--------------|------------|--------------|--------|
|                    | 報告数<br>(人) | 定点当<br>たり(人) | 報告数<br>(人) | 定点当<br>たり(人) |        |
| インフルエンザ            | 1,304      | 22.1         | 5,286      | 89.6         |        |
| RS ウイルス感染症         | 50         | 1.4          | 151        | 4.2          |        |
| 咽頭結膜熱              | 153        | 4.3          | 102        | 2.8          |        |
| 溶レン菌咽頭炎            | 263        | 7.3          | 235        | 6.5          |        |
| 感染性胃腸炎             | 2,302      | 63.9         | 2,005      | 55.7         |        |
| 水痘                 | 165        | 4.6          | 223        | 6.2          |        |
| 手足口病               | 233        | 6.5          | 164        | 4.6          |        |
| 伝染性紅斑              | 5          | 0.1          | 3          | 0.1          |        |
| 突発性発しん             | 169        | 4.7          | 127        | 3.5          |        |
| 百日咳                | 1          | 0.0          | 1          | 0.0          |        |
| ヘルパンギーナ            | 6          | 0.2          | 1          | 0.0          |        |
| 流行性耳下腺炎            | 24         | 0.7          | 18         | 0.5          |        |
| 急性出血性結膜炎           | 1          | 0.2          | 0          | 0.0          |        |
| 流行性角結膜炎            | 56         | 9.3          | 44         | 7.3          |        |
| 細菌性髄膜炎             | 0          | 0.0          | 0          | 0.0          |        |
| 無菌性髄膜炎             | 1          | 0.1          | 0          | 0.0          |        |
| マイコプラズマ肺炎          | 0          | 0.0          | 1          | 0.1          |        |
| クラミジア肺炎            | 0          | 0.0          | 0          | 0.0          |        |
| 感染性胃腸炎<br>(ロタウイルス) | 17         | 2.4          | 2          | 0.3          |        |

例年同時期(過去 3 年の平均)より報告数が多い  
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

咽頭結膜熱の報告数は153人(4.3)で前月の約1.5倍、例年の約1.3倍であった。中央(17.0)、日南(11.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約7割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は2,302人(63.9)で前月の約1.2倍、例年の約1.3倍であった。小林(109.3)、高千穂(109.0)、延岡(90.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1～3歳が全体の約4割を占めた。

手足口病の報告数は233人(6.5)で前月の約1.4倍、例年の約4.2倍であった。宮崎市(13.2)、中央(6.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1～3歳が全体の約8割を占めた。

## ■ 月報告対象疾患の発生動向 4月

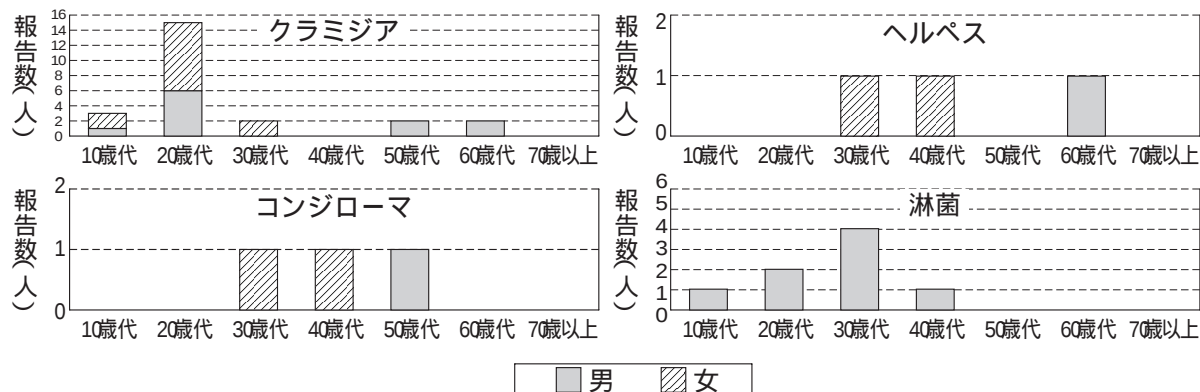
### □ 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は38人(2.9)で、前月比152%と増加した。また、昨年4月(3.4)の約9割であった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症 報告数24人(1.9)で、前月の約1.5倍、昨年4月の約9割であった。20歳代が全体の約6割を占めた(男性11人・女性13人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症 報告数3人(0.23)で、前月の約1.5倍、昨年4月の約3割であった(男性1人、女性2人)。
- 尖圭コンジローマ 報告数3人(0.23)で、前月の約3倍であった(昨年4月報告なし)(男性1人、女性2人)。
- 淋菌感染症 報告数8人(0.62)で、前月の約1.3倍、昨年4月の約9割であった。30歳代が全体の約半数を占めた(男性8人)。



### □ 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数 7

定点医療機関からの報告総数は19人(2.7)で前月比68%と減少した。また昨年4月(4.4)の約6割であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 報告数18人(2.6)で、前月、昨年4月の約7割であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 報告数1人(0.14)で、前月と同程度、昨年4月の約2割であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 報告はなかった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症 報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

## ■ 病原体検出情報(微生物部)

|      | 検出病原体                            | 件 |
|------|----------------------------------|---|
| ウイルス | エンテロウイルス7型                       | 2 |
|      | 腸管凝集付着性大腸菌(O127a H2 aggR)        | 1 |
| 細菌   | EHEC(O128 H2 VT1)                | 1 |
|      | EHEC(O157 H7 VT1,2)              | 1 |
| 菌    | Bordetella pertussis(百日咳菌)       | 1 |
|      | Salmonella Infantis(O7 r 1,5)    | 1 |
|      | Salmonella Oranienburg(O7 m,t -) | 1 |
|      | Salmonella Thompson(O7 k 1,5)    | 1 |
|      | Salmonella Typhimurium(O4 i 1,2) | 1 |

## 各都市医師会だより

### 西都市西児湯医師会

2014年度診療報酬改定が発表されたが、これは2025年、65歳以上の高齢者人口が全体の人口比率の3割(約3,600万人)を超えると予想されるため、2025年に向けた社会保障制度改革の具体的な第一歩として考えられたものである。そこで医療機関の機能分化・強化が進められようとしているが、それは高度急性期から慢性期までさまざまな病棟・病床の要件に「できるだけ早期に在宅に帰す」ための機能分化であり連携であると言われる。

2025年には、年間の死亡率が2010年の1.5倍になるとされているが、それを考えると入院患者は、3倍以上になると推定される(死亡するまで数回入院した場合)。ということは、一人あたりの入院期間を1/3以下に短縮する努力が必要となる(急性期からどんどん移動させなければいけない)。

そこで在宅医療を充実させなければいけないことになる。在宅医療に対しては24時間365日対応型の在宅医療を基本的な位置付けとしているためチーム医療が必須と思われるが、最終的には各自の病(医)院の機能を明確にし、2025年の超高齢化社会におけるそれぞれの病(医)院のあり様をイメージして対応を検討していく必要があると思う。(鶴田 明土)

### 南那珂医師会

宮大医学部5年生の実習(ポリクリ)が4月から開始されました。県立日南病院、串間市民病院、日南市内の10か所の病院・医院の協力のもと約110名の医学生が3日間地域医療の現場に触れる機会が得られます。将来の宮崎県の医療の発展に役立てていただきたいと思います。

(黒木 和男)

### 西諸医師会

現執行部の任期ももう少しとなりました。高崎会長を中心に法人の変更や正看護師養成のための看護学校の開設準備などあっという間の2年間でした。救急医療の分野ではドクヘリやモバイルCCUが運用されたことで、これまで救うことのできなかった患者さんを助けられるように

なりました。医師会でも地域の医療従事者の救急蘇生など対応力の更なる向上のために本年もICLS講習会等を計画しています。(丸山 賢幸)

### 宮崎市郡医師会

本会では昨年11月、5～6年後に宮崎市郡医師会病院を新築移転するための将来構想を会員の方々に示させていただき、去る3月1日には、都城市北諸県郡医師会のご厚意を受けて都城市郡医師会病院の建設現場を見学させていただきました。まだ基礎工事の段階で、四種類もの免震装置の設置状況をつぶさに見せていただき、大変参考になり感謝申し上げます。

私達執行部としましては、可能ならば、現在の248床から350床に増床して診療科目も充実させて、住民はもちろん、会員の方々にも満足していただきたいと思います。前多難で、

乗り越えるべき問題は山積しております。また、病院間の機能の無用な重複を避けるためには、会員の方々の将来構想も教えていただきたく存じているところです。

恐らく、私達団塊の世代が一線を退いている5～10年後までには、医療業界の凄まじいまでの淘汰と再編が余儀無くされることでしょうし、その際に、慌てなくて済むような体制の構築が必要ではないかと考えています。(山村 善教)

#### 都城市北諸県郡医師会

医師になって2年間、充分には理解していなかった医師会の重要な役割がわかったのは、恥ずかしながら理事になってからです。

特に当地域では、救急医療を最も多く担っているのは夜間救急センターとその後方支援を務める医師会病院です。その新築移転を順調に進めていくことが現在の最大の課題です。

( 檜原 進一郎 )

#### 延岡市医師会

肝癌治療で思うこと...Ablation は1個も10個も同じ値段。マイクロ波よりラジオ波の方が点数が高い。

硬化療法で思うこと...週に1回(7日おき)では点数が取れないが8日目から取れる。いろいろな矛盾をかかえて、お仕事されてると思いますが、少しでも正当な評価をしていただけるとモチベーションも上がりますよね。

( 赤須 郁太郎 )

#### 日向市東臼杵郡医師会

当医療圏では3病院が地域災害拠点病院の指定をうけています。拠点病院はDMATを保有す

ることが求められており、平成24年度に2病院、平成25年度に1病院のDMAT隊が整備されました。4月25日にこのDMAT隊の呼びかけで、災害医療従事者研修会が医師会、日向警察署、消防署、保健所、市町村関係課の担当職員を交えて開催されました。研修会ではまずハザードマップを基にして当地域の浸水地域の確認を行った後、南海トラフの巨大地震発生による津波被害を想定した医療支援活動の可能性について協議が行われました。東日本大震災の救助活動に派遣された消防署職員からは、現地情報取得の困難等あらゆる困難が介在することが報告されました。また、実際に当地域で大規模な自然災害が発生した場合には、他地域からの災害医療支援チーム(DMAT隊等)の受入をどのようにするのか、さらに現在、市が指定している避難場所についての質疑も出される等最悪の事態を想定した活発な意見交換が行われました。災害発生時に即座に医療支援活動を迅速かつ円滑に行うため、このような研修会を定期的開催すべきだと思いました。(渡邊 康久)

#### 児湯医師会

4月1日児湯医師会総会にて役員選挙が行われ、来期も永友和之先生に会長をしていただくことになりました。7期目です。理事は4名の変動がありました。今回退任された先生の中で、高嶋章先生は28年間児湯医師会理事を務められました。本当にご苦労様でした。高橋政見先生は、県医師会理事6期を含む2年間自分の仕事を犠牲にして誠実に仕事されました。感謝申し上げます。(蟻塚 高生)

## 九州医師会連合会第 33 回常任委員会

と き 平成 26 年 4 月 12 日(土)

ところ 湯布院温泉「山のホテル夢想園」

## 1. 開 会

## 2. 挨 拶

1) 宮城九州医師会連合会長・沖縄県医師  
会長

2) 開催県医師会 近藤大分県医師会長

## 3. 報 告

1) 日本医師会選挙管理委員会委員及び予備  
選挙管理委員について(沖縄)  
福岡県, 鹿児島県各 2 名を推薦した。

・選挙管理委員会

福岡県 上野陽右先生,  
鹿児島県 園田勝男先生

・予備選挙管理委員

福岡県 池園 洋先生,  
鹿児島県 増田吉彦先生

## 4. 協 議

1) 九州医師会連合会常任委員・九州各県医  
師会次期会長合同会議及び九州医師会連  
合会常任委員・九州ブロック次期日医代  
議員協議会について(沖縄)

下記のとおり開催することが決定した。

日時 平成 26 年 6 月 7 日(土)

常任委員・次期会長合同会議

15 30~ 16 30

常任委員・次期日医代議員協議会

16 40~ 18 00

場所 沖縄都ホテル

2) 九州ブロック日医代議員連絡会議に  
ついて(沖縄)

下記のとおり開催することが決定した。

日時 平成 26 年 6 月 7 日(土) 18 10~ 19 00

場所 沖縄都ホテル

日医委員会報告については, 九州各県に  
照会の結果, 地域医療対策委員会(大橋輝明  
先生: 福岡), 医療事故調査に関する検討委  
員会(堤康博先生: 福岡)にお願いすること  
となった。3) 九州ブロック日医代議員連絡会議の開催  
について(沖縄)従来どおり 6 月 2 日(金) 18 00 から新橋第  
一ホテル東京で開催する。6 月 28 日と 29 日  
も当日の朝 9 00 から, 日医の九州ブロッ  
ク控室で開催することとなった。4) 九医連諸会議の開催日程について(大分)  
下記のとおり開催することが決定した。(1) 第 34 回常任委員会・九医連連絡会第 23 回  
常任執行委員会他

日時 平成 26 年 7 月 4 日(金)

常任委員会 16 00~ 16 40

常任執行委員会 16 40~ 16 50

九州各県保健医療福祉主管部長・  
九州各県医師会長合同会議

17 00~ 18 30

場所 宮崎観光ホテル

(2) 第 34 回常任委員会他

日時 平成 26 年 8 月 2 日(土)

常任委員会 16 00~ 17 00

場所 宮崎観光ホテル

(3) 第 34 回常任委員会・第 10 回定例委員総  
会・九医連連絡会第 15 回執行委員会

日時 平成 26年 8 月 30日(土)

場所 レンブラントホテル大分

- 5 ) 平成 26年度( 第 36回 )九州各県保健医療福祉  
社主管部長・九州各県医師会長合同会議  
の開催について( 宮崎 )

稲倉会長より、合同会議と意見交換会の  
説明が行われ、九州ブロックとしての災害  
対応等を昨年に引き続き協議したいと提案  
された。

## 5 . その他

- 1 ) 在宅医療、在宅看取り推進に対する提言  
について( 長崎 )

時本長崎県会長から、今回の診療報酬改  
定における連携型機能強化型住宅支援診療  
所登録時の在宅看取り年間 2 件以上の条件  
撤廃と、同一施設同一日複数患者訪問点数  
の増額について、要望書として長崎県選出  
国会議員に提出したことを報告した。

出席者 - 稲倉会長、小川次長

## 宮崎県医師会メールリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA 通信」と「会員交流用メールリングリスト」の 2 本立てでの  
メールリングリストの運用をしています。

### MMA 通信

目的：県医師会から会員への情報提供( 各種通知文書、研修会の案内等 )

対象：会員本人、医療機関代表のアドレスなど

### 会員交流用メールリングリスト

目的：会員同士の意見交換、会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。  
まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

問合せ先：宮崎県医師会 地域医療課

TEL 0985-22-5118

## 都道府県医師会 新たな財政支援制度担当理事連絡協議会

と き 平成 26 年 4 月 25 日(金)

ところ 日本医師会館

挨拶

横倉日医会長

新たな財政支援制度は、平成 25 年 8 月の社会保障制度改革国民会議報告書に基づくものであるが、同時期に日本医師会は四病院団体協議会とともに医療提供体制のあり方について合同提言をとりまとめ公表した。目前の超高齢社会にあっても、世界最高レベルの健康水準を守り、国民とビジョンを共有しながら、新たな時代にふさわしい体制構築に向けて取り組むことなどを基本方針とし、発症から在宅復帰までどのような病期にあっても、患者の病態にあわせて、最善の医療を切れ目なく提供する体制を構築しようというものである。さらに、「中長期的なビジョンと医療法をはじめとする制度的枠組みの整備、枠組みに沿った医療機関の自主的な改革努力と機能強化等に対する公的支援、必要な体制構築に取り組む全ての医療機関の経営努力を公平に支える適切な診療報酬体系の実現、及びこれらのための財源措置を強く求めたい」とした。新たな財政支援制度を運用するに当たっては、合同提言の考え方を踏まえ対応することが重要であると考えている。

他方、平成 21 年度からはじまった地域医療再生基金は、公立病院改革や救急搬送受入れ困難問題等、当時の状況も手伝って、公的医療機関に偏ったバランスを欠いたものであった。しかし、新たな財政支援制度は、厚生労働省も「官民公平」を謳っている。さらに、地域包括ケアシステムは、地域に密着した民間中心の診療所や中小病院が中心となることから、当然、財政支援

の主な対象はそのような医療提供施設やその支援を行う地域医師会でなければならない。そのためには都道府県医師会が窓口となって、地域の要望や提案をとりまとめ、都道府県行政との間で協議を行って地域の実情を反映した計画を策定いただくことが最も重要であると考えている。

新たな財政支援制度について

### 1. 日本医師会の経緯・方針等の説明

(中川日医副会長)

平成 25 年 8 月、社会保障制度改革国民会議の報告書で「地域ごとの様々な実情に応じた医療・介護サービスの提供体制を再構築するという改革の趣旨に即するためには、全国一律に設定される診療報酬・介護報酬とは別の財政支援の手法が不可欠」との認識が示され、平成 26 年度予算で新たな財政支援制度(基金)が導入されることとなった。こうした基金方式は、最近では平成 21 年度の第一次補正予算で設置された「地域医療再生基金」等があるが、大きな違いは、今回は当初予算時点で計画しているという点である。

また、平成 25 年 11 月の財政制度等審議会の建議では、地域医療再生基金が公的病院に偏重していたことを指摘し、地域医療ビジョンの実現に向け新たな財政支援制度を活用すること等を支持している。

### 2. 制度及び現在の検討状況等の説明

(佐々木厚生省医師確保等地域医療対策室長)

新たな財政支援制度の概略

医療や行政等の関係者が、日本全国一枚岩

となって今回の制度改革に臨みたい。新たな財政支援制度は平成 26年度 904億円となっている。次年度は消費税の税収によって予算が決まるため金額は不明であるが消費税制度が続く限りは存続する予定である。地域医療再生基金と同じ点は、都道府県に基金を設置することで、違う点は補正予算ではない、都道府県の負担が 1/3ある、法的根拠があるということである。

また、法的根拠である「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」により、各地域において効率的で質の高い医療提供体制と地域包括ケアシステムを構築するために、厚生労働省が「総合確保方針」(第 3 条)、都道府県が「都道府県計画」を定め、その実現に努めることになっている。

都道府県に対しての説明と政策全体での位置づけ

この基金の基本的な考え方は、国民が一生懸命働いて納めていただいた貴重な財源を、客体である国民が消費税を納めて良かったと思っていただくために、使い道を考える主体の行政が一枚岩となり、多くの方々に議論に参加していただいた上で、提案を査定するという意識ではなく、いかに地域の実情に応じた正しい事業を組み立て、それぞれの意見やノウハウを出し合う共同作業だと考えている。

できれば、法案成立後、7月から3か月ほどの調整期間を経て、都道府県計画の策定、内示、交付等と進み、最終的には都道府県の 12月定例議会で補正予算を組み込むことを想定している。

交付の条件は、国が定める総合方針に基づくこと、3つの対象事業に合致していること、官民を問わない幅広い地域の関係者の意見を聴取し官民公平に配分すること等

であり、このことは都道府県のヒアリングや総合確保方針を策定するための協議会で必ず確認することとなる。

また、基金の配分方法は、都道府県の人口等の基礎的要因と事業評価等の政策的要因を勘案して、予算の範囲内で行うことになるが、初年度からの既存事業の固定化や事業別の予算枠設定は考えていない。

最終的には、現場のプロである医師会等と行政が一枚岩になり、知恵を出し合うことで消費税増税以上の成果をあげて行きたい。

全体協議(質疑応答要旨)

Q 平成 26年度は地域包括ケアの底上げをお願いしたいとのことであったが、医療と介護の連携も対象となるのか。また、地域医療再生基金において在宅医療の基盤づくりを行っているが、平成 26年度継続中のものもある。拡充事業であれば対象となるのか。年度内に消化できなかった事業を次年度に改めて申請できるのか。

A (厚労省)在宅医療を考えると多職種連携から介護も加わってくる。その流れであれば平成 26年度も対象となる。補助金の重複は地域医療再生基金や市町村で言えば介護保険を財源とした地域支援事業等が考えられるが、時期が重なることはできない。事業の継続申請は、毎年予算が付くので計画的に実施することは可能である。

Q 今回認められた事業が毎年継続していくのか。そうでなければ毎年ヒアリング等を行うのか。

A (厚労省)総合確保方針等、毎年政策等も変化するため毎年見直しを行っていく。初年度の先行事業の固定化や事業別の予算枠設定は考えていない。しかし、毎年必要なものは当然対象となる。今後は、都道府県の当初予算(前年度 2 月)又は 6 月補正に間に合うような

スケジュールを想定している。

Q タイムスケジュールについて、今年 5 ～ 6 月の第 2 回ヒアリングの際、平成 27 年度の規模感等を聴取することが記載されている。市町村等が関係する在宅医療と認知症施策の推進部分では厳しいと考えるが。

A (厚労省) 在宅医療の推進・介護サービスの充実の申請は、直接都道府県に申請する場合と市町村を経由する場合の 2 つのルートがある。平成 27 年度のことを前年の 5 ～ 6 月に考えていただきたいのは、地域医療再生基金と違い毎年予算が付くことと国の概算要求が 8 月であるために、都道府県には次年度を見据え継続的に計画を立てていただきたいという主旨である。

Q 事業主負担の考え方は。

A (厚労省) 制度上、公費負担ルール(国 2：都道府県 1) が決定しているだけで、事業主負担の割合は確定していない。各事業において、予算の範囲内で都道府県と協議の上、決定していくこととなる。

Q 郡市医師会が在宅医療や介護等の事業を提案する時は、必ず市町村を経由しなければならないのか。市町村が認めない場合が想定できないか。

A (日医) 日医の考えでは、まず郡市医師会が市町村と協議した上で、その計画を都道府県医師会を経由して申請していただきたい。

(厚労省) 現在、都道府県の医療計画に在宅医療等の法的根拠があるが、市町村にはない。しかし一括法が認められれば、市町村も介護保険を財源とした地域支援事業の中で在宅医療と介護の連携事業ができることとなる。端境期にある中で、市町村が困惑することも想定できる。そのようなことから 2 つのルート(都道府県 事業者、都道府県 市町村 事業者)がある。できれば都道府県医師会を経由したほうが、今後の運用はスムーズになると考

える。

Q まとめ役としての医師会の役割は。

A (日医) 日本医師会は、取りまとめ役は都道府県医師会が担うべきだと厚労省に強く主張し、ご理解いただいている。

(厚労省) 都道府県の実情に応じて、各団体を含めた医療界のまとめ役になっていただきたい。

Q 都道府県が 1/3 を負担しなければ基金は投入されない。都道府県が負担できない時に何らかの方法があるのか。

A (厚労省)：歳入(補填)は別として、都道府県が負担しなければ対象とならない。しかし、不足分等については地方消費税の増収分を充てること、必要額と地方消費税増収分のアンバランス分については地方交付税で調整することとなっている。

総 括

(高杉日医常任理事)

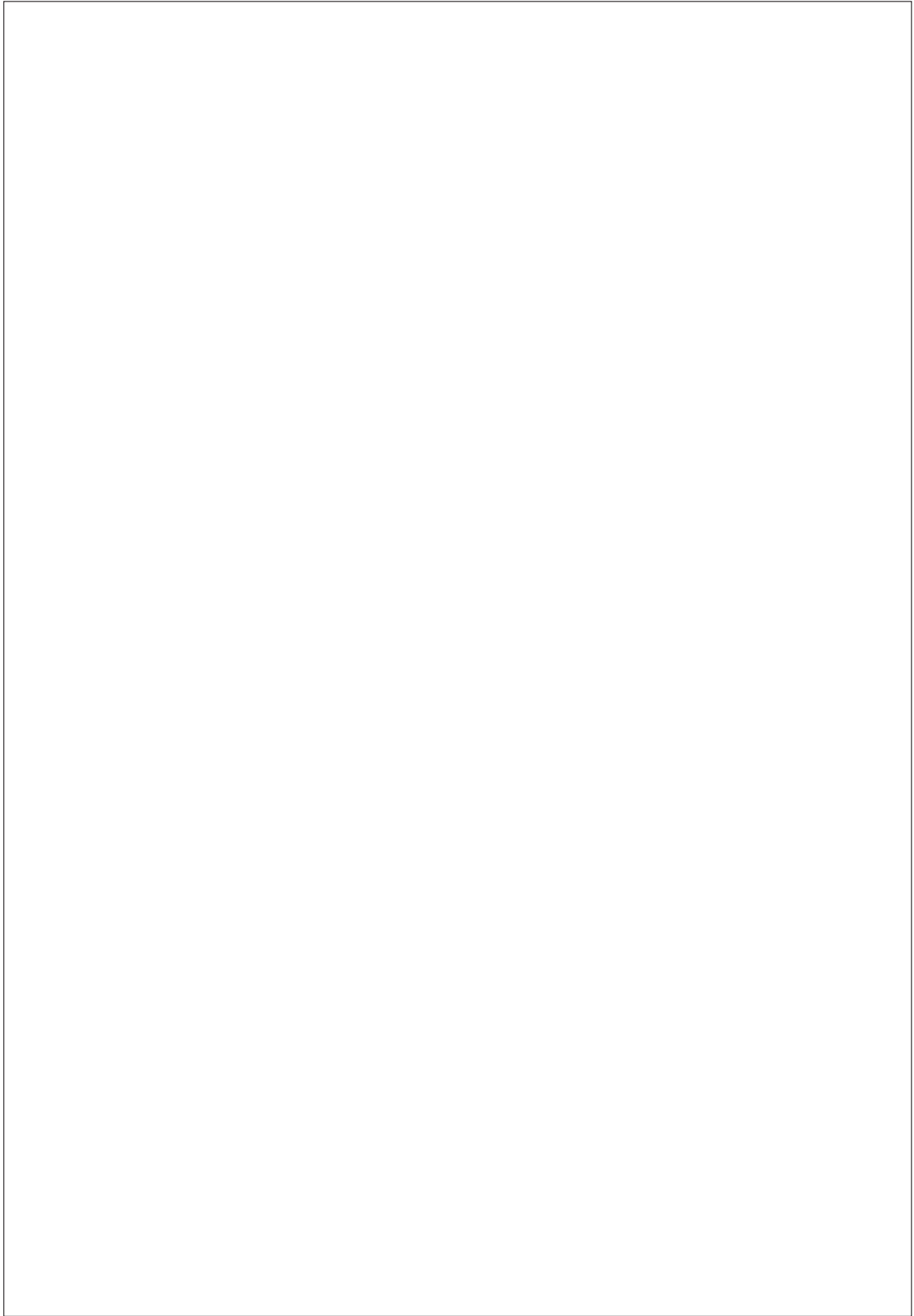
平成 37(2025)年に向けて国がやっと本気になった。都道府県医師会と県行政、郡市区医師会と市町村行政が密接に連携をとり、その中で地域づくりをして下さいというメッセージと理解している。まさに政策転換の時、医師会の役割が問われている。

(中川日医副会長)

平成 37 年の医療提供体制の改革、地域包括ケアシステムの構築に関して、今まで以上に、全国の医師会が中心となり、主導権を持つような仕組みを作ろうと考えている。今回、役割が重く仕事を増やすことになるが、是非、地域医療体制と地域包括ケアの確立のためご協力いただきたい。

出席者 - 吉田・金丸常任理事、竹崎次長

TV 会議 稲倉会長、河野・富田副会長、  
立元常任理事、大重事務局長、  
久永課長、鳥井元課長補佐、  
串間・瀬戸山主事



新たな財政支援制度における対象事業(案)

「。」をつけているものは、国と関係団体との協議を踏まえ地域包括ケアの推進等のため特に必要と考えられる新たな事業

## 薬事情報センターだより ( 325)

## 新薬紹介( その 69)

今回は 4 月に薬価収載された前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤ザルティア錠 2.5mg・5 mg( 一般名: タダラフィル )と高リン血症治療剤リオナ錠 250mg( 一般名: クエン酸第二鉄水和物 )について紹介いたします。

ザルティア錠 2.5mg・5 mg( 一般名: タダラフィル )

タダラフィルは、イーライリリー社によって開発された選択的ホスホジエステラーゼ( PDE ) 5 阻害作用を有する経口製剤です。これまでに本邦では、勃起不全治療剤( 製品名: シアリス錠 5 mg・10mg・20mg )及び肺動脈性肺高血圧症治療剤( 製品名: アドシルカ錠 20mg )として、承認販売されています。今回、新たな作用機序と特徴を有する前立腺肥大症に伴う排尿障害に対する治療薬として、ザルティア錠 2.5mg・5 mg という製品名で承認販売されました。

タダラフィルは、血管や下部尿路組織に分布する PDE 5 を阻害することにより cGMP 濃度を上昇させます。cGMP 濃度の上昇により血管平滑筋が弛緩し、下部尿路組織における血流や酸素供給量が増加する結果、組織障害が改善し、下部尿路症状が改善すると考えられています。また、尿道・前立腺・膀胱頸部の平滑筋弛緩作用も有し、尿道抵抗の軽減および膀胱の過伸展の改善につながると考えられます。さらに膀胱からの求心性神経活動の抑制作用も蓄尿症状の改善に寄与していると推察されます。

本剤は、2014 年 1 月に「前立腺肥大症に伴う排尿障害」を効能・効果として承認され、4 月に日本新薬株式会社から発売されました。

承認時までには、日本を含むアジアで実施されたプラセボ対照二重盲検並行群間比較試験( 3 試験 )において、本剤を投与された総症例 894 例( 日本人患者 68 例を含む )中 98 例( 11.0% )に副作用が認められ、主な副作用は、消化不良 15 例( 1.7% )、頭痛 12 例( 1.3% )等でした。なお、重大な副作用として、本剤の投与により( 男性勃起不全治療剤及び肺動脈性肺高血圧症治療剤としての投与を含む )、発疹、蕁麻疹、顔面浮腫、剥奪性皮膚炎、Stevens -Johnson 症候群等の過敏症が、ごくまれに報告されています( 頻度不明 )。

リオナ錠 250mg( 一般名: クエン酸第二鉄水和物 )

リオナ錠 250mg は、クエン酸第二鉄水和物を有効成分とする薬剤です。本剤に含まれる第二鉄( 3 価鉄 )が消化管内で食事由来のリン酸と結合し、難溶性の沈殿を形成することにより、糞中へのリン排泄を促進させ、消化管からのリン吸収を抑制することで、血清リン濃度を低下させます。第二鉄( 3 価鉄 )はリン酸と強力に結合することが知られており、また、一般的にヒトにおいては、第二鉄( 3 価鉄 )は第一鉄( 2 価鉄 )に比べ吸収されにくいことが知られていることから、リン吸着薬の主成分として適していると考えられます。しかし、本剤 3 価鉄は腸上皮細胞の還元酵素により一部が 2 価鉄に還元され吸収されます。血清フェリチン等を定期的に測定し、鉄過剰に注意することが必要です。また、ヘモグロビン等を定期的に測定し、特に赤血球造血刺激因子製剤と併用する場合には、過剰造血に注意が必要です。

血液透析患者を対象とした臨床試験において、血清リン濃度の低下が 1 週間で認められ、以降その効果は持続しました。また、本剤は比表面積が大きく、溶解速度が速いという特性を有しています。

本剤は、2014 年 1 月に「慢性腎臓病患者における高リン血症の改善」を効能・効果として承認され、5 月に鳥居薬品株式会社から発売されました。なお、米国及び欧州では Keryx Biopharmaceuticals 社が開発中です。

国内における本剤の主要な臨床試験において、801 例中 204 例( 25.5% )に副作用が認められ、主な副作用は、下痢( 10.1% )、便秘( 3.2% )、血清フェリチン増加( 2.7% )、腹部不快感( 2.5% )等でした( 承認時 )。

## 参考資料

ザルティア錠 2.5mg・5 mg, リオナ錠 250mg  
各添付文書・インタビューフォーム  
( 宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

## 日医インターネットニュースから

### ■ 麻疹報告数、過去 6 年で最高ペース維持 — 国立感染症研 —

国立感染症研究所が 4 月 22 日発表した麻疹発生動向調査によると、2014 年第 15 週(4 月 16 日現在)の麻疹の報告数は 14 例で、2 週連続で減少した。

その一方で、今年に入ってから累積報告数は 274 例で、依然として過去 6 年で最も累積報告数が多かった 09 年(732 例)を上回るペースで伸びている。

都道府県別の報告数では、多い順に東京都 5 例、神奈川県・愛知県各 3 例、和歌山県 2 例、岐阜県 1 例と続く。推定感染地別では、国内 9 例、国外 5 例となっている。(平成 26 年 4 月 22 日)

### ■ 在宅不適切例の排除は適切な判断 — 中川副会長 —

中川俊男副会長は 4 月 26 日、横浜市で開かれた日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会で「最近の医療情勢とその課題～2014 年度診療報酬改定を中心に～」と題して特別講演を行った。

中川副会長は「今回の改定では、保険医療機関が経済的な誘引で患者紹介を受けることを禁止すると決定した。これは大きな転換点だと思う。いろいろな意見があることは承知しているが、患者を探してきて医師に紹介し、診療報酬から一部報酬を得るという行為は、医療本体に営利産業が入り込んでくることを意味する。これは早いうちに芽を摘まなければならない。今回の判断は適切だったと考えている」と述べた。

さらに「答申後、同一建物の訪問をめぐって激変すぎるとの強い意見があった。これを踏まえ厚生労働省は、医療現場の実態を反映し、在宅医療を円滑に進めることができるよう緩和策を示した。全国で真面目に在宅医療を進めている医療機関に対しては、われわれも支援していきたいと考えている。今回の改定はあくまでも営利主義の広がりを放置しないための措置だ」とし、「今後の推移を見ながら必要に応じて中医協等で協議し、適宜、対応策を講じていきたい」と述べ、理解を求めた。

#### ● 主治医評価は「育てていく項目」

一方、主治医機能を評価するため 14 年度診療報酬改定で導入された地域包括診療加算・同診

療料については「どの程度の診療所が届け出るかを見ながら検証し、2 年後の診療報酬改定につなげていきたい」とし、今後、かかりつけ医機能を担う診療所が幅広く算定できるような項目として育てていく考えを強調。「今回の改定は、かかりつけ医機能の評価を診療報酬上で具体的に示したということが一つの目玉だ。診療所や中小病院の主治医の評価であり、画期的なことだった。ただ改定財源が 350 億円しかなく、算定要件はなかなか厳しいものになった」とした。

同加算・同診療料については、院内処方原則が最終的には 24 時間開局の薬局であれば院外処方も可能になった。

院内処方原則について中川副会長は「患者の視点から、医薬分業の在り方がこのままでいいのかを見直す良い機会にしていくべきではないか」と指摘し、近年の調剤報酬の伸びや行き過ぎた院外処方などについて患者の視点を起点に再考する時期に来ているとした。(平成 26 年 5 月 2 日)

### ■ 医療保険部会での検討踏まえ議論 — 紹介状なし定額負担で田村厚労相 —

紹介状なしで大病院を受診した患者の定額負担をめぐり、厚生労働省が初・再診料と同額(2820 円、720 円)の自己負担を求める案を軸に検討するとの一部報道を受け、田村憲久厚生労働相は 5 月 9 日の閣議後会見で「いろんな案が出ている中の一つ」と語った。社会保障審議会・医療保険部会での議論などを踏まえ、厚労省として具体的に検討する考え。

紹介状なし患者の初・再診時の自己負担をめぐっては、社会保障制度改革のプログラム法に「医療提供施設相互間の機能の分担を推進する観点からの外来に関する給付の見直し」として盛り込まれており、医療保険部会でも 2015 年の通常国会への法案提出に向けて「大病院外来定額自己負担」としてすでに検討課題に挙がっている。社会保障制度改革国民会議では、初診料を大幅に上回る 1 万円を自己負担させるべきとの提案があった。

診療報酬では、紹介・逆紹介率の低い 500 床以上の病院で初診料と外来診療料を引き下げ、保険外併用療養費(選定療養)を利用して患者が自己負担する仕組みをすでに取り入れている。

(平成 26 年 5 月 13 日)

## ■「同一建物」適正化の影響など調査実施 — 中医協が了承 —

中医協総会は5月14日、2014年度診療報酬改定の結果検証に関する特別調査の実施を了承した。調査テーマは、同一建物同一日の訪問診療などの適正化のほか、主治医機能評価の新設や紹介率・逆紹介率の低い大病院での処方料等の適正化による影響調査など12項目。今後、調査に必要な調査票や客体選定などの作業に入る。

特別調査は、総会に先だって開かれた診療報酬改定結果検証部会でも了承された。調査実施が決まった12項目の特別調査のうち、「同一建物同一日の訪問診療等の適正化による影響調査」だけは、報酬減算により集合住宅などでの訪問診療の確保が懸念されるとの指摘を受け、それ以外の調査よりも前倒しで行うことで早期の実態把握を進める。8月にも調査に入り、10月にも結果速報を取りまとめる。(平成26年5月16日)

## ■カテーテル等の誤切断で注意喚起 — 医療安全情報 —

日本医療機能評価機構は5月15日、医療材料や医療機器をはさみで切断しようとした際、誤ってカテーテルやチューブを切断した事例が複数発生したとして、医療安全情報で注意喚起した。2011年1月から14年3月までに7件の事例が報告された。このうち1事例では、患者の気管チューブを再固定する際、固定したテープが長かったため看護師がテープを切ったところ、気管チューブのインフレーションチューブも切断していた。そのため、医師が抜管と再挿管を行った。

事例が発生した医療機関では、はさみを使用する前にカテーテルやチューブを整理するなどの取組みを行っている。(平成26年5月20日)

## ■「外来は出来高」今後も方針揺るがず — 中川副会長 —

中川俊男副会長(中医協・診療側委員)は5月20日、メディファクスの取材に答え「診療側として外来の報酬体系について出来高方式を原則にするという基本方針は、今後も堅持していく。外来の初・再診料を含む基本診療料の在り方については、今後、中医協の基本問題小委員会および総会できちんと議論していきたい」との基本的姿勢を示した。中医協支払い側委員の白川修二氏(健保連副会長)が19日の会見で、医療費適正化対策として、外来管理加算と再診料の包括など外来診療の包括化を課題として挙げたことに対してコメントした。

中川副会長は「地域包括診療料・地域包括診療加算は、かかりつけ医機能の評価であって、外来に包括化を持ち込むというものではない」とした。2014年度診療報酬改定では、主治医機能の評価として地域包括診療料(包括払い)と地域包括診療加算(出来高払い)の2タイプで決着。主治医機能の評価は15年度の中医協検証項目に決定している。中川副会長は「地域包括診療加算は、検証調査結果を十分に踏まえ、次につなげる議論をしていきたい」と述べた。

### ●まず基本診療料の在り方の議論を

支払い側から外来管理加算の意義付けが不明確とされている点については「基本診療料がしっかり評価されれば加算を付けようということにはならない。われわれが次期診療報酬改定議論のテーマとして最初に初・再診料を挙げているのは、基本診療料をしっかりと議論していきたいという考えからだ。包括や出来高、加算などの前提条件なく、基本診療料の在り方について議論を進めていきたい」と述べ、中医協基本問題小委と総会での議論を重視する考えを示した。

(平成26年5月23日)

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページをご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

日医インターネットニュースへのアクセス方法

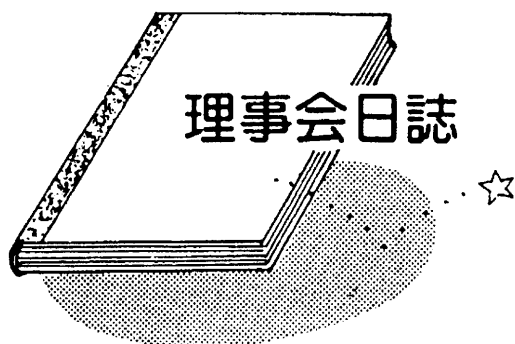
日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック

メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている10桁の数字)を0も含め、全て半角で入力

パスワード 先生の生年月日の6桁の数字を半角で入力  
例) 1964年5月1日生まれの場合、610501



平成 26 年 4 月 15 日(火)第 3 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

宮日母子福祉事業団評議員の留任について

→任期満了に伴う推薦依頼で、稲倉会長に引き続き就任いただくことが承認された。宮崎県立看護大学参与会委員の推薦について

→大学運営のあり方を中長期的に検討するための外部評価機関としての参与会であり、任期満了に伴う推薦依頼で、立元常任理事に引き続き就任いただくことが承認された。宮崎県肝炎治療認定審査会委員の推薦及び就任について

→肝炎治療特別促進事業の適正かつ円滑な実施を図ることを目的に審査会が設置されており、任期満了に伴う推薦依頼で、弘野修一・北村亨先生に就任いただくことの内諾を得られており、県医師会として承認された。

宮崎県小児慢性特定疾患対策協議会委員の推薦について

→小児慢性特定疾患治療研究事業の適正かつ円滑な実施を図ることを目的に審査会が設置されており、任期満了に伴う推薦依頼

で、三宅和昭先生、高村理事に就任いただくことの内諾を得られており、県医師会として承認された。

宮崎県学校保健会役員の委嘱並びに推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で、会長として稲倉会長、理事として富田副会長と高村理事、監事として石川常任理事、評議員として吉田常任理事に引き続き就任いただくことが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

6 /14(土)・15(日)宮崎県糖尿病宿泊講習会の名義後援の依頼について

→例年開催されている受講者と糖尿病専門医師、スタッフと共に体験談や意見交換を企画した宿泊講習会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 業務委託について

妊婦及び乳児の健康診査並びに審査事務の委託契約について

→昨年度に承諾した金額であり、妊婦健診については 14 回まで、乳児健診については 2 回まで、乳児・妊婦精密健診、妊婦子宮がん健診については 1 回とした契約を締結することが承認された。また 1 回の審査事務委託料も昨年同様 50 円とすることが承認された。

4. 会費減免申請について

疾病による会費免除申請が承認された。

5. 7 /4(金)宮崎)平成 26 年度(第 36 回)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議の開催並びに提出議題について

7 月開催であり、次期会長の出席が承認された。また、提出議題については、5 /10 までとなっているので、稲倉会長に一任することとなった。

## 6 . 医科歯科連携について

26年度診療報酬改定において、医療機関から歯科医療機関へ連携を求められた場合の評価が算定されることとなり、県歯科医師会からの協力依頼である。各都市医師会を通して、各医療機関へ周知することが承認された。

## 7 . 新研修医保険診療等説明会及び祝賀会について

説明会の時間配分と祝賀会の役割分担の含めた最終確認が行われた。

## 8 . 宮崎県男女共同参画センター「女性のためのスキルアップ講座」の講師紹介について

男女共同参画社会づくりを啓発する事業として初めて開催する講座であり、産婦人科の女医に講師を依頼したいとのことであり、県産婦人科医会に推薦を依頼することが承認された。

## 9 . 地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について

例年同様、日医が5月1日～10月31日迄、クールビズ等の対応を行うことから、本会でも同様の期間、夏の軽装に取り組むことが提案され、承認された。

## (報告事項)

## 1 . 週間報告について

## 2 . 4 /11(金) 日医 都道府県医師会地域医療ビジョン担当理事連絡協議会について

## 3 . 4 /12(土) 県医 県と女性医師との意見交換会について

平成 26年 4 月 22日(火)第 1 回全理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

## 1 . 本会外の役員等の推薦について

宮崎県メディカルコントロール協議会委員の推薦について

→救急業務の高度化を推進するための協議会であり、任期満了に伴う推薦依頼で、富田副会長と古賀常任理事が引き続き就任することが承認された。

## 第 6回社会を明るくする運動宮崎県推進委員会委員の推薦について

→法務省主唱で、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、明るい地域社会を築くことを目的に設置される委員会で、都道府県の推進委員会委員に、引き続き稲倉会長が就任することが承認された。

平成 26年度介護支援専門員更新研修(実務経験者)及び専門研修開催(6 /15・県北)(6 /29・県央)(8 /10・県央)に伴う講師推薦について

→県の委託を受けて介護支援専門員協会が実施している研修の講師推薦依頼であり、人選については石川・牛谷常任理事に一任することが承認された。

## 2 . 平成 26年度「宮崎県医療功労者知事表彰」候補者の推薦について

医療及び医療の推進に精励し、格段の功績があった者に対して贈られる知事表彰で、都市医師会からあげられた5名を推薦することが承認された。

## 3 . 6 /28(土)・29日(日) 日医 第 133回日医定例代議員会並びに第 133回日医臨時代議員会の開催について

日医定例・臨時代議員会の案内であり、5 /2の県医臨時代議員会以降に出席者を報告することが承認された。

## 4 . 平成 26年度都道府県医師会税制担当理事連絡協議会開催について

立元常任理事と事務局の出席が承認された。

## 5 . 宮崎県医師会母体保護法指定医師の更新申請について

2 年に 1 回の更新申請であり，全理事協議会の承認事項となっており，54 名の更新申請について承認された。

#### 6. 業務委託について

平成 26 年度宮崎県寝たきり予防対策支援センター業務の委託契約について

→ 広域支援センター会議，研修会，資源調査の 3 つの事業を中心に実施される委託契約で，引き続き契約を締結することが承認された。

平成 26 年度県立学校の児童・生徒を対象とする心臓検診の委託契約について

→ 主に県立高等学校の 1 年生を対象に行われる心臓検診の委託契約で，消費税の増額分が引き上げられ，昨年同様契約を締結することが承認された。

平成 26 年度県立学校児童生徒の定期健康診断における結核健康診断業務の委託契約について

→ 契約を締結することが承認された。また，血液検査において感度の良い ELISPOT 法を用いた検査について，確認することとなった。

#### 7. 日本医師会・米国研究製薬工業協会 (PhRMA) 共催シンポジウム - 真のワクチンギャップ解消に向けた予防接種のあり方 - の開催について

峰松理事の出席が承認された。

#### 8. 5・6 月の行事予定について

5 月の追加行事と 6 月の行事の確認が行われた。

#### (報告事項)

1. 4/9(水) 支払基金 支払基金幹事会について
2. 4/12(土) 大分 九医連常任委員会について
3. 4/15(火) 日医 日医理事会について
4. 4/17(木) 県医 保険医療機関の指導計画等打合せについて

5. 4/14(火) 県医 県臨床研修運営協議会について

6. 4/22(火) 宮大 地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会について

7. 4/21(月) 県医 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について

8. 3/13(木) 県医 広報委員会について

9. 3/24(火) 県医 広報委員会について

10. 4/11(金) 県医 広報委員会について

11. 4/21(月) 県医 広報委員会について

医師国保組合関係

#### (報告事項)

1. 3/14(金) 県医 医師国保組合通常組合会について

2. 3/23(日) こどものくに 医師国保組合歩こう会について

3. 3/26(金) 県医 医師国保組合理事会について

平成 26 年 5 月 13 日(火) 第 4 回常任理事協議会

医師会関係

#### (議決事項)

1. 10/1(水)～2(木) 日医 第 58 回社会保険指導者講習会の開催日程について

「痛みのマネジメント」をメインテーマに開催されることが報告され，日医で開催される講習会への参加者及び宮崎県で行われる復講等の企画については，次期の担当理事に一任することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

日医代議員会財務委員の推薦について

→ 4/12 の九医連常任委員会で本県と鹿児島県から選出することが承認されており，次期の日医代議員の中から就任していただくことが承認された。

宮崎県社会福祉審議会臨時委員の推薦について

→社会福祉の身体障害者手帳申請に添付する診断書の内容について、判定を行う委員の推薦依頼であり、現在委員の6名については再任の方向で現職の先生方の意向を確認し推薦を行う。また、増員の2名並びに退任の意向があれば、推薦母体の各専門分科医会に推薦を依頼することが承認された。

宮崎県公害健康被害認定審査会委員及び公害健康被害診療報酬審査委員の推薦について

→公害による健康被害者の認定、障害程度の決定を行う審査会及び公害医療についての診療報酬請求の内容の審査を行う審査員の認定審査会委員と診療報酬審査委員の推薦依頼であり、伊井敏彦先生を引き続き推薦することが承認された。

### 3. 後援・共催名義等使用許可について

8 /2 (土) (宮大)日本褥瘡学会・在宅褥瘡医療ネットワーク委員会宮崎県セミナーの講演依頼について

→在宅における褥瘡治療の向上及び予防の推進を目的に開催されるセミナーで、名義後援を行うことが承認された。

8 /23 (土) (福岡)「輸血シンポジウム 2014 in 九州」の名義後援について

→「安全な輸血医療を目指して」をテーマに、輸血医療に携わる医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師等を対象にして開催されるシンポジウムで、名義後援を行うことが承認された。

9 /6 (土) (都城)「第22回都城緩和ケア研究会」後援依頼について

→「多職種からみた緩和ケア」をテーマに、緩和ケアの啓発・普及・質の向上を図り、患者や家族に対する真の援助を研究するために開催される講演会で、名義後援を行うことが承認された。

9 /6 (土) (市民文化ホール)「第5回いのちの講演会」名義後援の申請について

→「授かるよろこび 育てるよろこび 命をつなぐよろこび」をテーマに、弓削田健介氏、水谷もりひと氏を講師に招き行われる講演会で、名義後援を行うことが承認された。

### 4. 平成 26年度学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣被表彰者の推薦について

学校保健・学校安全に関する文部科学大臣表彰の候補者として1名を推薦することが承認された。

### 5. 6 /7 (土) (沖縄)九医連諸会議 [ 常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議, 常任委員・九州ブロック次期日医代議員協議会, 九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議 ] の開催について

稲倉会長と次期会長、次期日医代議員、現日医代議員の参加が承認された。なお、常任委員・次期会長合同会議の提出議題については、稲倉会長と次期会長に一任することとなった。

### 6. 7 /4 (土) (宮崎観光ホテル)九医連第34回常任委員会の開催について

次期会長の参加が承認され、提出議題についても、次期会長に一任することとなった。

### 7. 業務委託について

平成 26年度医師養成・確保支援事業に係る業務委託について

→医師のキャリア形成と一体的に医師確保を支援し、医師の養成・確保を図る事業の委託契約で、金額も昨年度よりもアップされており、引き続き契約を締結することが承認された。

平成 26年度肝炎ウイルス検査事業に係る業務委託について

→過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない20歳以上の宮崎県民(宮崎市民を除く)を対象に行われる事業で、消費税分が5%から8%にアップされている以外は昨年と同様の内容であることから、契約を締結することが承認された。

平成 26 年度産業医研修事業に係る業務委託について

→産業医学振興財団が策定した「産業医研修大綱」に基づき、産業医研修会及び連絡協議会等を実施する事業で、金額も昨年度よりもアップされており、引き続き契約を締結することが承認された。

8. 5 / 30 ( 宇都宮 ) 平成 26 年度第 1 回メディカルコントロール協議会連絡会の開催について  
副担当理事の出席が承認された。

( 報告事項 )

1. 週間報告について
2. 4 月末日現在の会員数について
3. 4 / 30 ( 県庁 ) 県立看護大学あり方検討委員会について
4. 5 / 7 ( 支払基金 ) 支払基金幹事会について
5. 4 / 25 ( 九州厚生局宮崎事務所 ) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
6. 4 / 30 ( 宮崎労働局 ) 労災診療指導委員会について

7. 4 / 22 ( 宮観ホテル ) 新研修医保険診療等説明会及び祝賀会について

8. 4 / 25 ( 日医 ) 都道府県医師会新たな財政支援制度担当理事連絡協議会について

9. 4 / 25 ( 東京 ) 世界医師会東京理事会晩餐会について

10. 5 / 10 ( 県医 ) 産業医研修会について

11. 5 / 13 ( 県医 ) 治験審査委員会について

医師連盟関係

( 議決事項 )

1. 5 / 20 ( 東京 ) 国民医療を守る議員の会総会の出席について

稲倉委員長と事務局が出席することが承認された。

2. 5 / 22 ( 東京 ) 敬人会夕食勉強会の案内について

武見敬三議員を激励すると共にご本人が国政報告を行う勉強会で、協力を行うことが承認された。

3. 5 / 24 ( JA 全農 ) 自民党県連総務会並びに県連大会の案内について

稲倉委員長に一任することが承認された。

4. 7 / 4 ( 宮観ホテル ) 九州医連連絡会第 23 回常任執行委員会の開催について

次期委員長の参加が承認され、提出議題についても、次期委員長に一任することとなった。

あなたできますか？ ( 解答 )

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| a | d | e | e | b | c | d | b | a | b  |

# 県 医 の 動 き

( 5 月 )

|          |                                                                                              |    |                                                                                               |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1        | 県内科医会会計監査( 県医 5 階 )                                                                          |    |                                                                                               |
| 7        | 支払基金幹事会( 会長 )                                                                                | 21 | 日医・米国研究製薬工業協会( PhRMA )共催シンポジウム( 東京 ) 峰松理事 )<br>県医監事監査( 会長他 )                                  |
| 8        | 県産婦人科医会常任理事会( 濱田常任理事 )                                                                       | 22 | 医師国保組合理事会( 秦理事長他 )                                                                            |
| 10       | 産業医研修会 TV会議：都城・延岡・日向・児湯・西都・南那珂・西諸 ) 池井常任理事 )                                                 | 24 | 死体検案研修会( 会長他 )                                                                                |
| 10<br>11 | 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会( 岡山 )<br>( 金丸常任理事 )                                                       | 26 | 勤務医部会会計監査( 上田理事 )<br>広報委員会( 荒木常任理事他 )<br>勤務医部会理事会( 上田理事他 )<br>学校医部会理事・評議員会( 会長他 )             |
| 13       | 治験審査委員会( 富田副会長他 )<br>第 4 回常任理事協議会( 会長他 )                                                     | 27 | 医協理事・運営委員合同協議会( 会長他 )<br>医協理事会( 会長他 )<br>第 1 回理事会( 会長他 )<br>県医臨時代議員会( 会長他 )                   |
| 15       | 医協会計監査( 会長他 )<br>県内科医会学術委員会<br>県産婦人科医会がん対策委員会                                                | 28 | 労災診療指導委員会( 河野副会長他 )<br>県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会( 石川常任理事 )<br>労災部会会計監査<br>都城市北諸県郡医師会定時社員総会( 都城 ) |
| 16       | 都道府県医師会税制担当理事連絡協議会<br>( TV 会議参加 )<br>九州地方社会保険医療協議会総会( 福岡 )<br>( 河野副会長他 )<br>広報委員会( 荒木常任理事他 ) | 29 | 県内科医会理事会<br>県内科医会評議員会                                                                         |
| 18       | 日医在宅医療支援フォーラム( 日医 )<br>( 富田副会長他 )                                                            | 30 | 全国メディカルコントロール協議会連絡会( 栃木 )<br>( 佐々木理事 )<br>九州地方社会保険医療協議会宮崎部会<br>( 河野副会長 )                      |
| 19       | 県移植推進財団理事会( 河野副会長 )<br>県立看護大学参与会( 立元常任理事 )<br>宮崎市郡医師会 5 月例会しのめ医学会( 会長 )                      | 31 | 宮崎県ゆかりの福岡都市圏医師との交流会( 福岡 )<br>( 会長他 )                                                          |
| 20       | 日医理事会( 日医 ) 会長 )<br>国民医療を守る議員の会総会( 東京 ) 会長 )<br>医協打合会( 立元常任理事 )<br>第 5 回常任理事協議会( 河野副会長他 )    |    |                                                                                               |

団体所得保障保険

## 追 悼 の こ と ば

延岡市医師会

平 田 伊 都 子 先生

(昭和 4 年 9 月 2 日 生 84歳)

弔 辞

本日、亡き平田伊都子先生のご葬儀が執り行われるにあたり、延岡市医師会を代表致しまして、謹んで哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。

先生は、2年前にご病気で療養をされておられましたが、その後お元気になられたことは存じておりました。25日の夜、お亡くなりになったとの知らせに只々驚き、そして今は先生を失った悲しみと、さみしさで申し上げる言葉もございません。

ましてや、平田實先生、ご家族をはじめ、ご遺族の方々、先生を慕われる多くの皆様方の悲しみは如何ばかりかとお察し申し上げ、お慰めの言葉もなく、衷心よりお悔やみ申し上げる次第でございます。

先生は、昭和 4 年 9 月 2 日、大阪でお生まれになりました。昭和 2 年、大阪女子医専をご卒業され、その後、官公立の病院・保健所の勤務を経て、昭和 3 年、延岡の地へ参られ、平田實先生とともに平田病院でご勤務されました。平成 2 年には土々呂町から現在の伊形町に病院移転新築をおこないましたが、長年の土々呂地区の住民の切なる願いに応えられ、旧病院の跡地に「平田トトロ医院」を設置し、その後院長として診療に当たられておられました。

先生は、温厚かつ誠実なお人柄であり、患者さんの信頼も厚く、地域住民の健康管理、保健衛生の指導に尽力しながら、公衆衛生、地域医

療について深い関心と信念を持ち、延岡の代表的な内科医として絶大なる信頼と尊敬を受けておられました。

ご主人であられます平田實先生は、我々医師会にとりましても重鎮でございますが、長年にわたり医師会の中核でご活躍されました。医師会理事、そして会長職におられた際は、ご自分の病院をあげられることも多かったことと思いますが、伊都子先生が、内助の功で支えられ、ご苦労も多かったことだろうと思います。

また、医師会の中でも女性医師の会があり、先生はそのメンバーの中心的存在でございました。

先生にはまだまだ遣り残したことがたくさんおありのことと存じますが、先生も生前からご覧のように、ご子息の耕太郎先生がこのように立派にご活躍され、今後も医師として先生のご遺志に添って必ずや地域医療のために貢献されますものと信じております。

本日、先生とお別れするにあたり、先生がこれまで地域医療に対し尽くしてこられたご功績を忘れることなく、会員一同地域医療の発展向上に一層の努力をして行く所存でございます。

先生の温顔に再び接することは出来ませんが、ご家族をはじめご遺族の皆様のご安泰をお見守りいただきますようお願い申し上げ、黄泉路が平穏でありますことを心よりお祈りし、お別れの言葉といたします。

平田伊都子先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成 26年 4 月 2日

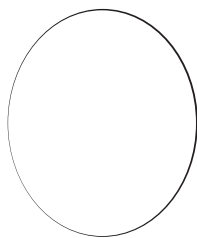
延岡市医師会

会長 牧 野 剛 緒

## ニューメンバー

児湯郡西米良村  
国民健康保険西米良診療所

お だ やす はる  
小 田 康 晴



**住 所** 児湯郡西米良村

**専門科目** 内科，呼吸器内科

**家族構成** 妻，長男（4），次男（2）

**略 歴**

平成 14 年 県立延岡高校卒業

平成 20 年 自治医科大学卒業

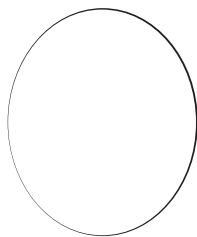
平成 25 年 西米良診療所勤務

**趣 味** 読書

**抱 負** 大学卒業後，県立宮崎病院にて初期臨床研修を受け，自治医大卒業生の義務にて五ヶ瀬町で 2 年，西米良村で 2 年目になります。自治医大卒業生だけで西米良診療所勤務をしているため，今年より所長となり，医師会に入会することとなりました。西米良村は，おがわ作小屋，西米良温泉ゆたーと，百菜屋などに，ゆず料理や西米良サーモン，椎茸南蛮，鹿刺と魅力あふれる料理でいっぱいです。ぜひ一度足を運びに来て下さい。ちなみに，定着して頂ける先生を大募集中です。

日向市  
協和病院

いり さわ そう きち  
入 澤 壮 吉



**住 所** 日向市

**専門科目** 精神科

**家族構成** 妻，長男（小 3），次男（幼稚園）

**略 歴**

平成 9 年 私立桐蔭学園高校卒業

平成 16 年 信州大学卒業

平成 18 年 卒後臨床研修修了

**趣 味** 海遊び，バイク，料理

**抱 負** 学生時代に旅した日向灘の景色，食べ物，人々の優しさが忘れられず，平成 20 年に長野県の松本から引っ越して参りました。きれいな海と，豊富な海産物，周りの方々のサポートのおかげで，日々宮崎県に居られる喜びをかみしめております。本年 4 月から日向市の協和病院に勤務しております。県北の精神科医療のため，少しでもお役に立てますよう，がんばりたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成 26年 5 月 16日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合せは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1 . 求職者登録数 4 人

#### 1 ) 男性医師求職登録数 4 人 ( 人 )

| 希 望 診 療 科 目 | 求 職 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|-------------|-------|-----|-------|
| 内 科         | 3     | 3   | 0     |
| 外 科         | 1     | 1   | 0     |

#### 2 ) 女性医師求職登録数 0 人

| 希 望 診 療 科 目 | 求 職 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|-------------|-------|-----|-------|
|             | -     | -   | -     |

### 2 . 斡旋成立件数 47人

|             | 男性医師 | 女性医師 | 合 計 |
|-------------|------|------|-----|
| 平 成 26 年 度  | 0    | 1    | 1   |
| 平成 16年度から累計 | 34   | 14   | 48  |

### 3 . 求人登録 7件 316人 ( 人 )

| 募 集 診 療 科 目 | 求 人 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|-------------|-------|-----|-------|
| 内 科         | 96    | 73  | 23    |
| 外 科         | 35    | 28  | 7     |
| 整 形 外 科     | 28    | 23  | 5     |
| 精 神 科       | 14    | 12  | 2     |
| 循 環 器 科     | 7     | 7   | —     |
| 脳 神 経 外 科   | 10    | 8   | 2     |
| 消 化 器 内 科   | 15    | 12  | 3     |
| 麻 酔 科       | 12    | 8   | 4     |
| 眼 科         | 6     | 5   | 1     |
| 放 射 線 科     | 10    | 8   | 2     |
| 小 児 科       | 4     | 3   | 1     |
| 呼 吸 器 内 科   | 12    | 11  | 1     |
| リハビリテーション科  | 4     | 4   | —     |
| 総合診療科・内科    | 4     | 3   | 1     |
| 神 経 内 科     | 7     | 6   | 1     |
| 救 命 救 急 科   | 6     | 6   | —     |
| 健 診         | 7     | 3   | 4     |
| 産 婦 人 科     | 3     | 3   | —     |
| 泌 尿 器 科     | 1     | —   | 1     |
| 検 診         | 2     | —   | 2     |
| 皮 膚 科       | 3     | 2   | 1     |
| 人 工 透 析     | 2     | 2   | —     |
| 在 宅 担 当 医   | 1     | 1   | —     |
| そ の 他       | 27    | 20  | 7     |
| 合 計         | 316   | 248 | 68    |

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施 設 名                     | 所 在 地 | 募 集 診 療 科                       | 求人数 | 勤 務 形 態 |
|--------|---------------------------|-------|---------------------------------|-----|---------|
| 160011 | 赤十字血液センター                 | 宮 崎 市 | 検診                              | 2   | 非常勤     |
| 160013 | 医 三晴会 金丸脳神経外科病院           | 宮 崎 市 | 脳外 整 放 麻 内                      | 10  | 常勤・非常勤  |
| 160017 | 医 プレストピア プレストピアなんば病院      | 宮 崎 市 | 乳外 内 麻                          | 3   | 常勤      |
| 160020 | 財 弘潤会 野崎病院                | 宮 崎 市 | 精 内                             | 2   | 常勤      |
| 160031 | 社医 同心会 古賀総合病院             | 宮 崎 市 | 呼 神内 眼 総診 呼外 ,<br>臨病 乳外 整外 麻酔   | 11  | 常勤      |
| 160033 | 医 如月会 若草病院                | 宮 崎 市 | 精                               | 2   | 常勤      |
| 170046 | 医 社団善仁会 市民の森病院            | 宮 崎 市 | 消内 内泌糖内 呼 リウマチ ,<br>神経内 健診      | 6   | 常勤・非常勤  |
| 170048 | 医 慶明会 けいめい記念病院            | 国 富 町 | 内 放 在宅医療                        | 3   | 常勤      |
| 170052 | 医 春光会                     | 宮 崎 市 | 外 内                             | 6   | 常勤・非常勤  |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院               | 宮 崎 市 | 内 神内 整 消内                       | 5   | 常勤      |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院                 | 宮 崎 市 | 消内 呼内                           | 6   | 常勤      |
| 190094 | 医 耕和会 迫田病院                | 宮 崎 市 | 内 外 整                           | 8   | 常勤・非常勤  |
| 190095 | 医 慶明会 宮崎中央眼科病院            | 宮 崎 市 | 眼                               | 1   | 常勤      |
| 190096 | 医 晴緑会 宮崎医療センター病院          | 宮 崎 市 | 消化 麻 循 リハビリ                     | 5   | 常勤・非常勤  |
| 200104 | 医 社団善仁会 宮崎善仁会病院           | 宮 崎 市 | 内 外 救急 呼外 婦人                    | 7   | 常勤      |
| 200105 | 医 誠友会 南部病院                | 宮 崎 市 | 内 外 放                           | 3   | 常勤      |
| 210110 | 医 幸秀会 大江整形外科病院            | 宮 崎 市 | 整                               | 1   | 常勤      |
| 210118 | 慈英病院                      | 宮 崎 市 | 内 外 整                           | 12  | 常勤・非常勤  |
| 230128 | 医 真愛会 高宮病院                | 宮 崎 市 | 内 精                             | 2   | 常勤      |
| 230132 | 医 康友会 青島クリニック             | 宮 崎 市 | 内                               | 1   | 常勤      |
| 230139 | 介護老人保健施設サンフローラみやざき        | 国 富 町 | 内 外                             | 2   | 常勤      |
| 230140 | 医 将優会 クリニックうしたに           | 宮 崎 市 | 外 内 整 家庭医 総合臨床                  | 1   | 常勤      |
| 230141 | 医 博愛社 佐土原病院               | 宮 崎 市 | 内                               | 1   | 非常勤     |
| 230143 | 医 社団孝尋会 上田脳神経外科           | 宮 崎 市 | 脳外 内                            | 2   | 常勤      |
| 230144 | 宮崎生協病院                    | 宮 崎 市 | 総内 呼吸内 消化器内 ,<br>健診             | 8   | 常勤・非常勤  |
| 230146 | 財 潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮 崎 市 | 内 神内 外 整外 脳外 ,<br>リハ 麻酔 救急 緩和ケア | 10  | 常勤      |
| 230148 | 医 コムコ美容外科                 | 宮 崎 市 | 美外 形成外 外 麻酔                     | 8   | 常勤・非常勤  |
| 160008 | 医 正立会 黒松病院                | 都 城 市 | 泌                               | 1   | 非常勤     |
| 160010 | 特医 敬和会 戸嶋病院               | 都 城 市 | 内 消内 整 神内                       | 7   | 常勤・非常勤  |
| 160018 | 医 宏仁会 メディカルシティ東部病院        | 都 城 市 | 内 救急 放射 脳外 外 ,<br>眼 透内 皮膚       | 8   | 常勤      |
| 170057 | 医 清陵会 隅病院                 | 都 城 市 | 内 外 整                           | 3   | 常勤      |
| 180064 | 国立病院機構都城病院                | 都 城 市 | 消内 内 呼内 総合内                     | 4   | 常勤      |
| 180081 | 医 恵心会 永田病院                | 都 城 市 | 精                               | 1   | 常勤      |
| 190092 | 都城市郡医師会病院                 | 都 城 市 | 内 呼                             | 6   | 常勤      |

| 登録番号   | 施 設 名            | 所 在 地 | 募 集 診 療 科                          | 求人数 | 勤 務 形 態 |
|--------|------------------|-------|------------------------------------|-----|---------|
| 210114 | 藤元病院             | 都 城 市 | 精 , 内                              | 3   | 常勤      |
| 230127 | 医 ) 倫生会 三州病院     | 都 城 市 | 外 , 内 , 整                          | 7   | 常勤・非常勤  |
| 230133 | 介護老人保健施設すこやか苑    | 都 城 市 | 不問                                 | 1   | 常勤      |
| 230137 | 医 ) 宏仁会 海老原内科    | 都 城 市 | 内                                  | 1   | 常勤      |
| 230142 | 医 ) 魁成会 宮永病院     | 都 城 市 | 内 , リハビリ                           | 2   | 常勤      |
| 230150 | 医 ) 与州会 ウェルネス苑都城 | 都 城 市 | 不問                                 | 2   | 常勤・非常勤  |
| 230153 | 都城健康サービスセンター     | 都 城 市 | 放 , 消内 , 消外 , 健診                   | 8   | 常勤・非常勤  |
| 230157 | 医 ) 一誠会 都城新生病院   | 都 城 市 | 精 , 内                              | 4   | 常勤・非常勤  |
| 160012 | 医 ) 伸和会 共立病院     | 延 岡 市 | 外 , 整 , 皮 , 放 , 内 , 消外             | 6   | 常勤      |
| 160021 | 医 ) 建悠会 吉田病院     | 延 岡 市 | 精                                  | 3   | 常勤・非常勤  |
| 160034 | 特医 ) 建寿会 黒木病院    | 延 岡 市 | 外 , 内 , 緩ケア                        | 6   | 常勤・非常勤  |
| 160036 | 医 ) 久康会 平田東九州病院  | 延 岡 市 | 内 , 外 , 麻 , 精 , 神内 , 脳神経 , 老施 , 心内 | 5   | 常勤・非常勤  |
| 190086 | 早田病院             | 延 岡 市 | 内                                  | 1   | 常勤      |
| 200100 | 医 ) 育生会 井上病院     | 延 岡 市 | 産婦 , 内 , 小                         | 3   | 常勤      |
| 200102 | 延岡市医師会病院         | 延 岡 市 | 消内                                 | 5   | 常勤      |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター      | 延 岡 市 | 内 , 小                              | 2   | 非常勤     |
| 230151 | 介護老人保健施設エクセルライフ  | 延 岡 市 | 内                                  | 1   | 常勤      |
| 230156 | 医 ) 中心会 野村病院     | 延 岡 市 | 内 , 外                              | 2   | 常勤      |
| 160039 | 医 ) 誠和会 和田病院     | 日 向 市 | 外 , 内 , 整 , 神内                     | 6   | 常勤      |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院      | 門 川 町 | 内                                  | 3   | 常勤      |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院    | 美 郷 町 | 内 , 整                              | 2   | 常勤      |
| 230152 | 美郷町国民健康保険南郷診療所   | 美 郷 町 | 内                                  | 1   | 常勤      |
| 160006 | 都農町国保病院          | 都 農 町 | 内 , 放 , 外                          | 3   | 常勤      |
| 160023 | 医 ) 宏仁会 海老原総合病院  | 高 鍋 町 | 整 , 内 , 心内 , 眼 , 健診 , 循 脳          | 16  | 常勤・非常勤  |
| 160024 | 医 ) 隆徳会 鶴田病院     | 西 都 市 | 内 , 外                              | 2   | 常勤      |
| 150002 | 医 ) 慶明会 おび中央病院   | 日 南 市 | 内                                  | 4   | 常勤・非常勤  |
| 150003 | 医 ) 同仁会 谷口病院     | 日 南 市 | 精                                  | 1   | 常勤      |
| 160022 | 医 ) 愛鍼会 山元病院     | 日 南 市 | 内                                  | 2   | 常勤      |
| 160037 | 医 ) 十善会 県南病院     | 串 間 市 | 精 , 内( いずれか )                      | 1   | 常勤      |
| 170047 | 日南市立中部病院         | 日 南 市 | 内 , 外 , 整 , リハビリ , 在宅診療            | 5   | 常勤      |
| 180071 | 串間市民病院           | 串 間 市 | 内 , 外                              | 2   | 常勤      |
| 230138 | 小玉共立外科           | 日 南 市 | 不問                                 | 2   | 常勤・非常勤  |
| 230149 | 介護老人保健施設おびの里     | 日 南 市 | 内                                  | 2   | 常勤・非常勤  |
| 160019 | 医 ) 相愛会 桑原記念病院   | 小 林 市 | 内 , 整 , 皮膚                         | 5   | 常勤・非常勤  |
| 170043 | 医 ) 和芳会 小林中央眼科   | 小 林 市 | 眼                                  | 2   | 常勤・非常勤  |
| 180067 | 小林市立病院           | 小 林 市 | 循 , 救急 , 産婦 , 放 , 小                | 10  | 常勤      |
| 180076 | 医 ) 友愛会 園田病院     | 小 林 市 | 外 , 内 , 整                          | 7   | 常勤・非常勤  |
| 190090 | 特医 ) 浩然会 内村病院    | 小 林 市 | 精 , 内                              | 3   | 常勤      |
| 190091 | 医 ) 友愛会 野尻中央病院   | 小 林 市 | 整 , 内                              | 4   | 常勤・非常勤  |
| 23055  | 医 ) 三和会 池田病院     | 小 林 市 | 脳外 , 整 , 麻 , 内 , 放射 , 外            | 7   | 常勤・非常勤  |
| 170049 | 五ヶ瀬町国民健康保険病院     | 五ヶ瀬町  | 内 , 外                              | 2   | 常勤      |
| 180070 | 高千穂町国保病院         | 高千穂町  | 内 , 透                              | 3   | 常勤      |
| 190088 | 日之影町国保病院         | 日之影町  | 内 , 整                              | 1   | 常勤      |

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 26 年 5 月 16 日現在

|                 |                                                                                                            |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 譲渡物件         | 宮崎市阿波岐ヶ原町前田 263 番 , 263 番<br>土地のみ : 593.57 坪 ( 2022.17m <sup>2</sup> )<br>＜所有者 児湯医師会員<br>( 医 ) 崧雲会 林クリニック＞ |
| 2. 譲渡又は<br>賃貸物件 | 宮崎市大字本郷南方 407 番<br>建物 鉄筋コンクリート 2 階建 ( 905m <sup>2</sup> )<br>駐車場 14 台分<br>別途職員専用駐車場有り<br>＜黒岩医院跡＞           |

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の午前 9 時から 12 時及び 13 時から 17 時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

**ドクターバンク無料職業紹介所**

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 ( 宮崎県医師協同組合 )

0985-23-9100 ( 代 ) ・ FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@m-iyazakimed.or.jp

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 26年 5 月 29日現在

| 6  |   |       |                              | 月  |   |                                                                                                  |        |
|----|---|-------|------------------------------|----|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 1  | 日 | 10 30 | eレジフエア                       | 14 | 土 |                                                                                                  | ↑      |
|    |   | 12 30 | 厚生労働大臣田村憲久先生を囲んでの昼食会         | 15 | 日 |                                                                                                  | 国      |
|    |   | 13 30 | 病院部会・医療法人部会合同研修会             | 16 | 月 | 19 00 広報委員会<br>19 00 医師国保組合定例事務監査                                                                | 保      |
|    |   | 14 00 | 参議院議員長峯誠政経セミナー               | 17 | 火 | 14 00 (日医)日医理事会<br>18 00 治験審査委員会<br>18 20 医協打合会<br>19 00 第7回常任理事協議会                              | 審      |
|    |   | 15 00 | 横倉義武日医会長候補選挙対策本部事務所開き        |    |   |                                                                                                  | 査      |
| 2  | 月 |       |                              |    |   |                                                                                                  |        |
| 3  | 火 | 15 00 | 県学校保健会理事・評議員会                | 18 | 水 | 14 00 産業医研修会<br>19 00 医家芸術展世話人会                                                                  | ↓      |
|    |   | 16 00 | 学校保健・学校安全に係る表彰審査会            |    |   |                                                                                                  |        |
|    |   | 19 00 | 第6回常任理事協議会                   |    |   |                                                                                                  |        |
| 4  | 水 | 17 00 | 県アイバンク協会理事会                  | 19 | 木 | 14 00 産業医研修会<br>17 00 県アイバンク協会評議員会                                                               |        |
| 5  | 木 | 16 00 | 県移植推進財団評議員会                  | 20 | 金 | 19 00 産業医研修会( 実地 )                                                                               |        |
|    |   | 19 30 | 日産婦学会専門医制度委員会宮崎地方委員会         | 21 | 土 | 14 30 医師協同組合総代会<br>15 10 県医連執行委員会<br>15 45 県医定例代議員会<br>17 00 県医総会                                | ↑      |
| 6  | 金 | 17 30 | 宮大医学部附属病院マッチング& 基幹型臨床研修病院説明会 |    |   |                                                                                                  | 社      |
| 7  | 土 | 14 30 | 勤務医部会理事会                     |    |   |                                                                                                  |        |
|    |   | 15 30 | 勤務医部会総会・講演会                  |    |   |                                                                                                  |        |
|    |   | 15 30 | 九医連常任委員・次期会長合同会議             |    |   | 19 00 広報委員会<br>19 00 医師国保組合理事会                                                                   | 保      |
|    |   | 16 00 | 県内科医会総会・学術講演会                |    |   |                                                                                                  |        |
|    |   | 16 40 | 九医連常任委員・九州ブロック次期日医代議員協議会     | 24 | 火 | 15 00 九州地区健康教育研究大会県実行委員会<br>18 00 医協理事会<br>19 00 第2回全理事協議会<br>終了後 医協理事・運営委員会合同協議会                | 審<br>査 |
|    |   | 18 00 | 県整形外科医会理事会                   |    |   |                                                                                                  |        |
|    |   | 18 10 | 九州ブロック日医代議員( 含・次期 ) 連絡会議     |    |   |                                                                                                  |        |
| 8  | 日 |       |                              | 25 | 水 | 15 00 労災診療指導委員会<br>19 00 県内科医会医療保険委員会                                                            | ↓      |
| 9  | 月 | 13 00 | 日医認証局ヒアリング                   | 26 | 木 | 19 30 延岡市医師会定時総会                                                                                 |        |
|    |   | 19 00 | 園医部会理事会                      |    |   |                                                                                                  |        |
| 10 | 火 | 18 25 | 医協理事会                        | 27 | 金 | 18 00 九州ブロック日医代議員連絡会議<br>18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会<br>19 00 予防接種広域化意見交換会                           |        |
|    |   | 18 30 | 第2回理事会                       |    |   |                                                                                                  |        |
|    |   | 19 00 | 現執行部と次期執行部との引継ぎ懇談会           |    |   |                                                                                                  |        |
| 11 | 水 | 15 00 | ( 日医 )日医医療秘書認定試験委員会          | 28 | 土 | 9 00 ( 日医 )九州ブロック日医代議員連絡会議<br>9 30 ( 日医 )日医定例代議員会<br>13 00 県産婦人科医会新生児蘇生法講習会<br>15 00 宮崎市郡医師会定時総会 |        |
|    |   | 16 00 | 支払基金幹事会                      |    |   |                                                                                                  |        |
|    |   | 19 00 | 産業医研修会                       |    |   |                                                                                                  |        |
| 12 | 木 | 16 00 | 県健康づくり協会理事会                  | 29 | 日 | 9 00 ( 日医 )九州ブロック日医代議員連絡会議<br>9 30 ( 日医 )日医臨時代議員会                                                |        |
|    |   | 19 00 | 産業医研修会                       |    |   |                                                                                                  |        |
|    |   | 19 00 | 県医師会医学会役員会                   |    |   |                                                                                                  |        |
|    |   | 19 30 | 県産婦人科医会常任理事会                 |    |   |                                                                                                  |        |
| 13 | 金 | 17 30 | 西諸医師会定時総会                    | 30 | 月 |                                                                                                  |        |
|    |   | 18 30 | 病院部会医療法人部会総会                 |    |   |                                                                                                  |        |

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 26 年 5 月 29 日現在

| 7 月 |   |                                           |                                                                             |   |
|-----|---|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|---|
| 1   | 火 | 19 00                                     | 第 8 回常任理事協議会                                                                |   |
| 2   | 水 |                                           |                                                                             |   |
| 3   | 木 | 14 00<br>19 00                            | 産業医研修会<br>県内科医会理事会                                                          |   |
| 4   | 金 | 16 00<br>17 00                            | 九医連常任委員会<br>九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議                                     |   |
| 5   | 土 | 14 30                                     | 産業医研修会( 実地 )                                                                |   |
| 6   | 日 | 10 00                                     | レジナビフェア                                                                     |   |
| 7   | 月 | 19 00                                     | 県内科医会会誌編集委員会                                                                |   |
| 8   | 火 | 18 30<br>19 00<br>19 30                   | 第 3 回全理事協議会<br>県福祉保健部・病院局との意見交換会<br>県福祉保健部・病院局との懇談会                         |   |
| 9   | 水 | 16 00                                     | 支払基金幹事会                                                                     |   |
| 10  | 木 | 19 00<br>19 30                            | 医師国保組合理事会<br>県産婦人科医会常任理事会                                                   |   |
| 11  | 金 |                                           |                                                                             |   |
| 12  | 土 | 14 00<br>15 30<br>15 30<br>16 00<br>17 00 | 京都府医師会在宅医療実地研修会<br>県外科医会総会<br>県整形外科医会総会<br>労災部会総会<br>県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学会 |   |
| 13  | 日 |                                           |                                                                             |   |
| 14  | 月 |                                           |                                                                             |   |
| 15  | 火 | 19 00                                     | 第 9 回常任理事協議会                                                                |   |
| 16  | 水 | 14 00                                     | 産業医研修会                                                                      |   |
| 17  | 木 | 19 00                                     | 産業医研修会                                                                      |   |
| 18  | 金 |                                           |                                                                             |   |
| 19  | 土 | 14 00<br>19 00                            | 全国有床診療所連絡協議会総会<br>首都圏医師との交流会                                                | 国 |
| 20  | 日 | 9 00<br>10 00                             | 全国有床診療所連絡協議会総会<br>レジナビフェア                                                   | 保 |
| 21  | 月 |                                           | ( 海の日 )                                                                     | 審 |
| 22  | 火 | 19 00                                     | 第 10 回常任理事協議会                                                               | 査 |
| 23  | 水 |                                           |                                                                             |   |
| 24  | 木 | 19 00                                     | 医師国保組合通常組合会                                                                 |   |
| 25  | 金 |                                           |                                                                             |   |
| 26  | 土 | 10 00                                     | ( 日医 ) 男女共同参画フォーラム<br>全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会                                 | 社 |
| 27  | 日 |                                           | 県プライマリ・ケア研究会世話人会<br>県プライマリ・ケア研究会総会・講演会                                      | 保 |
| 28  | 月 | 10 00                                     | 産業医研修会                                                                      | 審 |
| 29  | 火 | 18 00<br>19 00                            | 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会<br>第 11 回常任理事協議会                                          | 査 |
| 30  | 水 | 15 00                                     | 労災診療指導委員会                                                                   |   |
| 31  | 木 |                                           |                                                                             |   |

都合により、変更になることがあります。

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E -M a i l   g e n k o @ m i y a z a k i m e d . o r . j p

F A X   0 9 8 5   - 2 7   - 6 5 5 0

T E L   0 9 8 5   - 2 2   - 5 1 1 8

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注   F A X の際は、このページを切り取り、  
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX 0 9 8 5 - 2 7 - 6 5 5 0

き  
り  
と  
り  
せ  
ん

お名前

ご所属

TEL

FAX

医師協同組合だより

宮崎県医師協同組合ニュース

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位 日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん 各種がん検診登録・指定・更新による研修会。（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名称・日時・場所                                                                             | 演 題                                                                                                        | 主催・共催・後援<br>＝ 連 絡 先                           | 単<br>位 | CC<br>・<br>が<br>ん |
|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|--------|-------------------|
| 宮崎県医師会病院<br>部会・医療法人部<br>会合同研修会<br>6 月 1 日(日)<br>13 30～ 17 30<br>シーガイアコンベン<br>ションセンター | 医療制度改革と診療報酬改定<br>全日本病院協会副会長 猪口 雄二<br>平成 26 年度診療報酬改定の全体像<br>大倉山記念病院事務長 西本 育夫                                | 主催<br>宮崎県医師会病院<br>部会・医療法人部会<br>☎ 0985-22-5118 | 1.5    | 1<br>7<br>8       |
| 宮崎県内科医会<br>学術講演会<br>6 月 3 日(火)<br>19 00～ 20 30<br>宮崎観光ホテル                            | 肥満合併 2 型糖尿病患者に対する DPP-4 阻害薬<br>anagliptin の使用経験<br>県立日南病院内科医長 椎屋 智美<br>激変する糖尿病治療の新時代<br>陣内病院長 陣内 秀昭        | 共催<br>宮崎県内科医会<br>興和創薬(株)<br>☎ 0985-24-8175    | 1.5    | 8<br>75<br>76     |
| 第 9 回宮崎心臓リ<br>ハビリテーション<br>セミナー<br>6 月 4 日(水)<br>18 50～ 20 40<br>JA A Z M ホール         | 民間運動施設からの発信<br>- 看護師と理学療法士の挑戦 -<br>ハートリハソラ看護師 薬師寺 里江<br>心臓リハビリテーションに求められる今後の役割<br>九州大学病院循環器内科診療講師<br>肥後 太基 | 共催<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎ 0985-24-9119<br>トアエイヨー   | 1.5    | 1<br>5<br>15      |

| 名称・日時・場所                                                       | 演 題                                                                                                                      | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                                          | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん      |
|----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|--------|--------------------|
| 延岡医学会学術<br>講演会<br>6月6日(金)<br>19 00~ 20 30<br>ホテルメリージュ<br>延岡    | 糖尿病治療の進め方<br>- 新規抗糖尿病薬を含めて -<br>宮崎大学医学部神経呼吸内分泌代謝学分野<br>助教 上野 浩晶                                                          | 共催<br>延岡医学会<br>大正富山医薬品(株)<br>☎ 092-451-7884<br>ノバルティスファーマ(株)<br>後援<br>延岡内科医会 | 1      | 8<br>76            |
| 第 10回宮崎消化器<br>内科セミナー<br>6月6日(金)<br>19 00~ 21 00<br>宮崎観光ホテル     | 脂質異常症と肝疾患<br>国立病院機構九州医療センター消化器内科<br>医長 中牟田 誠<br>胃十二指腸ステントの現状と課題<br>東邦大学医療センター大橋病院消化器内科<br>教授 前谷 容<br>参加費 500円(研修医・学生は無料) | 共催<br>宮崎消化器内科セミナー<br>武田薬品工業(株)<br>☎ 0985-24-6763                             | 2      | 1<br>8<br>75<br>82 |
| 宮崎県医師会勤務<br>医部会総会前期<br>講演会<br>6月7日(土)<br>15 30~ 18 00<br>県医師会館 | 医療情報の共有による医療サービスと質の向上<br>宮崎大学医学部附属病院長 吉原 博幸<br>災害医療アップデート<br>- 災害医療の標準化, 特殊災害と多機関連携 -<br>日本医科大学附属病院救命救急科准教授<br>布施 明      | 主催<br>宮崎県医師会勤務医部会<br>☎ 0985-22-5118                                          | 2      | 1<br>4<br>9<br>84  |
| 宮崎県内科医会<br>総会・学術講演会<br>6月7日(土)<br>16 00~ 19 00<br>宮崎観光ホテル      | 非静脈瘤性消化管出血の臨床<br>宮崎大学医学部附属病院第一内科<br>病院教授 稲津 東彦<br>2型糖尿病の治療戦略<br>- 選択的SGLT 2阻害剤への期待と適正使用 -<br>那珂記念クリニック院長 遅野井 健           | 共催<br>宮崎県内科医会<br>☎ 0985-22-5118<br>宮崎県医師会<br>アステラス製薬(株)<br>M SD (株)          | 2      | 2<br>8<br>16<br>23 |

| 名称・日時・場所                                                              | 演 題                                                                                                                   | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                                            | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん       |
|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|--------|---------------------|
| 第 7 回宮崎県精神科<br>医会懇話会<br>6 月 7 日(土)<br>17 30~ 19 00<br>宮崎観光ホテル         | うつ病と認知症の関係について<br>佐賀大学医学部精神医学講座教授 門司 晃                                                                                | 共催<br>宮崎県精神科医会<br>☎ 0982-37-0126<br>エーザイ(株)                                    | 1.5    | 29<br>69<br>70      |
| 第 48 回都城画像診<br>断研究会<br>6 月 10 日(火)<br>19 15~ 20 15<br>ホテル中山荘          | 胸腹部の画像診断<br>国立病院機構都城病院放射線科医長<br>日野 祐一                                                                                 | 共催<br>都北医師会放射線科医会<br>バイエル薬品(株)<br>☎ 0986-22-0711                               | 1      | 2<br>15             |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>6 月 11 日(水)<br>19 00~ 21 00<br>都城市北諸県郡<br>医師会館    | (3)健康管理<br>糖尿病の予防と治療<br>都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展<br>生涯研修の専門研修会 2 単位                                                        | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                               | 2      | 5<br>11<br>76<br>82 |
| 日向市東臼杵郡<br>医師会学術講演会<br>6 月 11 日(水)<br>19 00~ 21 00<br>ホテルベルフォー<br>ト日向 | 心房細動に対する新規抗凝固療法の使用経験<br>千代田病院循環器内科部長 小宮 憲洋<br>脳卒中予防に新規経口抗凝固薬がもたらしたパラ<br>ダイムシフト(仮)<br>国立病院機構九州医療センター<br>臨床研究センター長 岡田 靖 | 共催<br>日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222<br>日向市東臼杵郡内科医会<br>日向市・東臼杵郡薬剤師会<br>バイエル薬品(株) | 1.5    | 13<br>15<br>73      |

| 名称・日時・場所                                                                       | 演 題                                                                                                      | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                 | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん        |
|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|--------|----------------------|
| 第 88回宮崎市郡医<br>師会心臓病研究会<br>6 月 12日(木)<br>18 50~ 20 20<br>宮崎観光ホテル                | コレステロール吸収阻害と心臓病<br>福岡大学医学部心臓・血管内科教授<br>朔 啓二郎                                                             | 共催<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎ 0985-24-9119<br>バイエル薬品(株)      | 1.5    | 2<br>9<br>15         |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>6 月 12日(木)<br>19 00~ 21 00<br>県医師会館                        | (1)労働安全関係法規と関連通達の改正<br>この頃の産業保健の動向<br>- 厚生労働省報道発表資料から -<br>西部労働衛生コンサルタント事務所代表<br>矢崎 武<br>生涯研修の更新研修会 2 単位 | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118    | 2      | 3<br>7<br>8<br>9     |
| 第 86回 江南 医 療<br>連 携 の 会 ・ 症 例<br>検 討 会<br>6 月 12日(木)<br>19 00~ 20 30<br>宮崎江南病院 | けんしんの腹部CTで見つかった血管の異常<br>宮崎江南病院放射線科主任部長 結城 康弘<br>最近の肺疾患例について<br>同病院長 白尾 一定<br>他 1                         | 主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>宮崎江南病院<br>☎ 0985-51-7575 | 1.5    | 53<br>56             |
| 第 35回宮崎てんか<br>ん懇話会<br>6 月 13日(金)<br>19 00~ 21 00<br>M R T m icc                | 道路交通法変更に伴うてんかん治療の変化について<br>三重大学大学院医学系研究科精神神経科学<br>教授 岡田 元宏<br>参加費 500円( 学生は無料 )                          | 共催<br>宮崎てんかん懇話会<br>協和発酵キリン(株)<br>☎ 0985-22-8801     | 2      | 13<br>32<br>35<br>73 |

| 名称・日時・場所                                                       | 演 題                                                                     | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                                                        | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん |
|----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------------|
| 日向市東臼杵郡医師会学術講演会<br>6 月 14 日(土)<br>16 20~ 17 40<br>日向市東臼杵郡医師会館  | 心に残る言葉<br>- NHK 42 年間に会った人たち -<br>県立芸術劇場館長 佐藤 寿美                        | 主催<br>日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222                                                         | 1      | 5<br>84       |
| 第 68 回 宮 崎 整 形<br>外科懇話会<br>6 月 14 日(土)<br>18 00~ 19 00<br>宮日会館 | 上腕骨近位端骨折の治療<br>手術療法の比較と最新の最少侵襲プレート固定<br>帝京大学整形外科准教授 小林 誠<br>参加費 1,000 円 | 主催<br>宮崎整形外科懇話会<br>共催<br>宮崎県整形外科医会<br>大日本住友製薬(株)<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部整形外科<br>☎ 0985-85-0986 | 1      | 57<br>77      |
| 循環器疾患検討会<br>特別講演会<br>6 月 16 日(月)<br>19 00~ 20 20<br>宮崎観光ホテル    | 救急医学と心電図<br>慶応義塾大学医学部救急医学教室教授<br>堀 進悟                                   | 共催<br>循環器疾患検討会<br>エーザイ(株)<br>☎ 0985-26-2676                                                | 1      | 44<br>45      |
| 西臼杵郡医師会<br>学術講演会<br>6 月 17 日(火)<br>18 45~ 20 00<br>ホテル高千穂      | 診療所における糖尿病診療<br>野田医院長 野田 寛                                              | 主催<br>西臼杵郡医師会<br>☎ 0982-73-2010<br>共催<br>延岡市・西臼杵郡薬剤師会<br>興和創薬(株)                           | 1      | 73<br>76      |

| 名称・日時・場所                                                              | 演 題                                                                   | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                              | 単<br>位 | CC<br>・<br>が<br>ん    |
|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|--------|----------------------|
| 宮崎市郡内科医会<br>学術講演会<br>6 月 17日(火)<br>19 00~ 20 00<br>宮崎観光ホテル            | 腎臓をターゲットとした新規糖尿病治療薬<br>SGLT -2 阻害剤への期待と課題<br>天保山内科院長 橋口 恭博            | 共催<br>宮崎市郡内科医会<br>☎ 0985-53-3434<br>サノフィ(株)      | 1      | 76<br>82             |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>6 月 18日(水)<br>14 00~ 16 00<br>県医師会館               | (4)メンタルヘルス対策<br>職場のメンタルヘルスの有効性<br>宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子<br>生涯研修の専門研修会 2 単位 | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118 | 2      | 3<br>5<br>69<br>70   |
| 第 16回 宮 崎 心 工<br>コー研究会<br>6 月 18日(水)<br>18 45~ 20 15<br>宮崎市郡医師会<br>病院 | 大動脈弁膜症の治療を考える<br>東京大学医学部附属病院検査部講師<br>大門 雅夫                            | 共催<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎ 0985-24-9119<br>第一三共(株)     | 1.5    | 1<br>2<br>15         |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>6 月 19日(木)<br>14 00~ 16 00<br>県医師会館               | (3)健康管理<br>熱中症を予防する<br>宮崎大学医学部公衆衛生学分野教授<br>黒田 嘉紀<br>生涯研修の専門研修会 2 単位   | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118 | 2      | 11<br>31<br>32<br>51 |

| 名称・日時・場所                                                                                          | 演 題                                                                                      | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                            | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|--------|----------------------|
| 都 城 市 北 諸 県 郡<br>医師会学術講演会<br>6 月 19 日(木)<br>19 00~ 20 30<br>都 城 ロ イ ヤ ル<br>ホテル                    | 糖尿病と認知症<br>都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展<br>認知症の薬物療法<br>- 特にレミニールの有用性について -<br>国立病院機構菊池病院副院長 木村 武実 | 共催<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎ 0986-22-0711<br>武田薬品工業(株)<br>ヤンセンファーマ(株) | 1.5    | 29<br>76<br>82       |
| 第 3 回病診連携の<br>タベ<br>6 月 19 日(木)<br>19 00~ 20 30<br>国立病院機構都城<br>病院                                 | リウマチの最新治療<br>国立病院機構都城病院副院長 税所 幸一郎<br>症例検討を兼ねた呼吸器疾患<br>同統括診療部長 後藤 康高<br>他 1               | 主催<br>国立病院機構都城病院<br>☎ 0986-23-4111                             | 1.5    | 26<br>46<br>61       |
| 平成 26 年度心臓検<br>診一次検討会(後期)<br>6 月 20 日(金)<br>19 00~ 21 00<br>日向市東臼杵郡<br>医師会館                       | 症例検討会                                                                                    | 主催<br>日向市東臼杵郡医師会心臓検診班<br>後援<br>日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222    | 2      | 11<br>33<br>43<br>44 |
| 第 40 回 宮 崎 大 腸<br>肛門疾患研究会<br>- 老健法の研修指<br>定に基づく大腸癌<br>研修会<br>6 月 20 日(金)<br>19 00~ 20 30<br>県医師会館 | 大腸ESD導入への工夫と現状<br>宮崎大学医学部消化器血液学分野助教 三池 忠<br>参加費 1,000円(研究会会員・コメディカルは無料)                  | 共催<br>宮崎大腸肛門疾患研究会<br>武田薬品工業(株)<br>☎ 0985-24-6763<br>天藤製薬(株)    | 1.5    | 54<br>55<br>大腸       |

| 名称・日時・場所                                                                             | 演 題                                                                                                                                                                                   | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                      | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|--------|---------------------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>6 月 20日(金)<br>19 00~ 21 00<br>県医師会館                              | (6)作業環境管理・作業管理<br>労働衛生保護具について<br>下津労働衛生コンサルタント事務所代表<br>下津 義博<br>生涯研修の現地研修会 2 単位                                                                                                       | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118         | 2      | 9<br>10<br>11<br>46             |
| 第 18回ひむか骨関<br>節・脊椎脊髄疾患<br>セミナー<br>6 月 21日(土)<br>15 45~ 19 00<br>シーガイアコンベン<br>ションセンター | 脊柱変形の診断と治療<br>- 思春期と症候性脊柱変形を中心に -<br>北里大学医学部整形外科主任教授<br>高相 晶士<br>アスリートの腰痛診断とその管理<br>- 確実な診断と低侵襲治療でフィールド復帰を可能<br>とする -<br>徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部<br>運動機能外科学分野教授 西良 浩一<br>他 1<br>参加費 1,000円 | 共催<br>ひむか骨関節・脊椎<br>脊髄疾患セミナー<br>第一三共(株)<br>☎ 0985-23-5710 | 3      | 2<br>10<br>19<br>60<br>61<br>72 |
| 第 15回宮崎県眼科<br>医会講習会<br>6 月 21日(土)<br>16 00~ 19 00<br>ホテルJA Lシティ<br>宮崎                | 認知症とどう向き合うか<br>宮崎大学医学部精神医学教室 石田 康<br>緑内障の責任者でてこい<br>広島大学医歯薬総合研究科視覚病態学教授<br>木内 良明<br>参加費 3,000円( 開業医・勤務医 )<br>2,000円( 公的医療機関勤務医 )                                                      | 共催<br>宮崎県眼科医会<br>☎ 0985-28-1015<br>参天製薬(株)               | 3      | 36                              |

| 名称・日時・場所                                                                                  | 演 題                                                                                                                      | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                                           | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------|
| 第 12 回宮崎県皮膚<br>科懇話会 第 8 回<br>日本臨床皮膚科医<br>会宮崎県支部会<br>6 月 21 日(土)<br>18 00~ 19 00<br>県立宮崎病院 | 食物アレルギーの診断と治療<br>宮崎生協病院小児科 山元 広巳                                                                                         | 共催<br>宮崎県皮膚科医会<br>共催<br>日本臨床皮膚科医会宮崎県支部<br>(連絡先)<br>たじり皮膚科医院<br>☎ 0985-84-1110 | 1      | 1<br>2         |
| 宮 崎 県 内 科 医 会<br>学術講演会<br>6 月 23 日(月)<br>19 00~ 20 50<br>ホテルJA Lシティ<br>宮崎                 | 宮崎県におけるアルブミン尿実態調査の報告(仮)<br>宮崎大学医学部附属病院第一内科 山下 靖宏<br>臓器再生医療の最前線<br>- 本当に臨床応用は可能になるのか(仮) -<br>東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科<br>教授 横尾 隆 | 共催<br>宮崎県内科医会<br>大日本住友製薬(株)<br>☎ 0985-29-5855                                 | 1.5    | 8<br>73<br>82  |
| 宮 崎 市 郡 医 師 会<br>予防接種勉強会<br>6 月 23 日(月)<br>19 00~ 20 00<br>県医師会館                          | 予防接種の最近の話題<br>たんぼぼ小児科 山崎 俊輔                                                                                              | 主催<br>宮崎市郡医師会<br>☎ 0985-53-3434                                               | 1      | 1<br>11        |
| 都 城 市 北 諸 県 郡<br>医師会内科医会<br>学術講演会<br>6 月 24 日(火)<br>19 00~ 20 30<br>都 城 ロ イ ヤ ル<br>ホテル    | 発熱性疾患の見かた<br>膠原病と重症熱性血小板減少症候群(SFTS)<br>宮崎大学医学部免疫感染病態学分野教授<br>岡山 昭彦                                                       | 共催<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎ 0986-22-0711<br>武田薬品工業(株)                               | 1.5    | 28<br>51<br>53 |

| 名称・日時・場所                                                                    | 演 題                                                                                                                       | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                                                 | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん        |
|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------|
| 児湯医師会学術<br>講演会<br>6月24日(火)<br>19 20~ 20 20<br>ホテル四季亭                        | 発達障害の診療<br>宮崎市総合発達支援センター所長<br>大庭 健一                                                                                       | 共催<br>児湯医師会<br>☎ 0983-22-1641<br>日本イーライリリー(株)                                       | 1      | 7<br>72              |
| 第 15回 宮崎市郡<br>医師会病院循環器<br>セミナー<br>6月25日(水)<br>18 45~ 19 45<br>宮崎市郡医師会<br>病院 | 世界標準のアメリカ心臓医療<br>- 日本との違い,そしてどちらが優れているのか? -<br>東京ベイ浦安・市川医療センター<br>循環器科部長 小船井 光太郎                                          | 共催<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎ 0985-24-9119<br>ボストン・サイエンティ<br>フィックジャパン(株)                     | 1      | 1<br>2               |
| 西諸医師会・西諸<br>内科医会合同学術<br>講演会<br>6月26日(木)<br>19 00~ 21 00<br>ガーデンベルズ<br>小林    | 高齢者の漢方療法<br>- 器質的疾患のサポートと不定愁訴駆逐の漢方<br>活用術 -<br>メディカルシティ東部病院<br>総合内科・漢方内科部長 前田 修司                                          | 主催<br>西諸医師会<br>☎ 0984-23-2113<br>西諸内科医会<br>共催<br>(株)ツムラ                             | 2      | 30<br>34<br>36<br>38 |
| 第 6 回宮崎県泌尿<br>器科一内科連携<br>の会<br>6月26日(木)<br>19 00~ 20 30<br>ガーデンテラス<br>宮崎    | 排尿異常について - アンケート調査から -<br>宮崎県内科医会常任理事 中津留 邦展<br>前立腺がんは治療しすぎでは?<br>- PSA 検査は本当に有用か? -<br>一般医科の先生へのお願い<br>香川大学泌尿器科准教授 杉元 幹史 | 共催<br>宮崎県泌尿器科医会<br>宮崎県内科医会<br>キッセイ薬品工業(株)<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部泌尿器科<br>☎ 0985-85-2968 | 1.5    | 65<br>66<br>84       |

| 名称・日時・場所                                                               | 演 題                                                                         | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                              | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん     |
|------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|--------|-------------------|
| 宮崎市郡産婦人科<br>医会例会<br>6 月 26 日(木)<br>19 15~ 20 15<br>宮崎観光ホテル             | 卒後 14 年目, 中堅産婦人科医として実践, 指導して<br>いる術後合併マネジメント<br>静岡赤十字病院産婦人科副部長 市川 義一        | 共催<br>宮崎市郡産婦人科医会<br>☎ 0985-53-3434<br>科研薬品(株)    | 1      | 11<br>84          |
| 宮崎木曜会創立<br>記念講演会<br>6 月 26 日(木)<br>19 30~ 20 30<br>M R T m icc         | 実臨床における潰瘍性大腸炎治療の勘所<br>福岡大学筑紫病院消化器内科講師<br>平井 郁仁                              | 共催<br>宮崎木曜会<br>エーザイ(株)<br>☎ 0985-26-2676         | 1      | 53<br>54          |
| 第 54 回 宮崎イン<br>ターベンション<br>研究会<br>7 月 1 日(火)<br>18 45~ 20 15<br>宮崎観光ホテル | 重症虚血肢に対する血行再建戦略<br>旭川医科大学循環・呼吸・腫瘍病態外科学分野<br>教授 東 信良                         | 共催<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎ 0985-24-9119<br>田辺三菱製薬(株)   | 1.5    | 1<br>2<br>15      |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7 月 3 日(木)<br>14 00~ 16 00<br>県医師会館                | (4)メンタルヘルス対策<br>感情労働 - 人よりも余計に気をまわしてます -<br>都城新生病院 前原 正法<br>生涯研修の専門研修会 2 単位 | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118 | 2      | 3<br>6<br>8<br>13 |

| 名称・日時・場所                                                               | 演 題                                                                                                  | 主催・共催・後援<br>= 連絡先                                                       | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん        |
|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------|
| 平成 26年度心臓検<br>診二次検討会(後期)<br>7月4日(金)<br>19 00~ 21 00<br>日向市東臼杵郡<br>医師会館 | 症例検討会                                                                                                | 主催<br>日向市東臼杵郡医師会心臓検診班<br>後援<br>日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222             | 2      | 11<br>33<br>43<br>44 |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月5日(土)<br>14 30~ 16 30<br>県医師会館                   | (6)作業環境管理・作業管理<br>作業環境測定(騒音測定器具を使つての实地研修)<br>宮崎大学医学部公衆衛生学分野教授<br>黒田 嘉紀<br>基礎研修・生涯研修の实地研修会 2単位        | 主催<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                                          | 2      | 3<br>9<br>11<br>84   |
| 第 54回都城心臓<br>血管懇話会<br>7月8日(火)<br>19 20~ 20 20<br>ホテル中山荘                | 肺高血圧症の診断と治療 - 病診連携の実際 -<br>鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学助教<br>窪田 佳代子                                              | 共催<br>都城心臓血管懇話会<br>☎ 0986-22-0711<br>アクテリオンファーマ<br>マシューティカルズ<br>ジャパン(株) | 1      | 24<br>45             |
| 第 87回 江南医療<br>連携の会・症例<br>検討会<br>7月10日(木)<br>19 00~ 20 30<br>宮崎江南病院     | 変形した膝蓋骨に生じた骨折に対してひまわり法を<br>用いて手術を行った1例<br>宮崎江南病院整形外科医長 坂田 勝美<br>輸入感染症としての麻疹の1例<br>同内科医長 田中 弦一<br>他 1 | 主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>宮崎江南病院<br>☎ 0985-51-7575                     | 1.5    | 53<br>56             |

| 名称・日時・場所                                                                                     | 演 題                                                                                                                   | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                                                         | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------|------------------------------|
| 機能性ディスペプ<br>シア講演会<br>7 月 11 日(金)<br>19 15~ 20 45<br>ガーデンテラス<br>宮崎                            | 機能性ディスペプシア診療ガイドライン<br>- エビデンスに基づいた最新の FD 治療戦略 -<br>兵庫医科大学内科学消化管科主任教授<br>三輪 洋人                                         | 共催<br>宮崎県内科医会<br>ゼリア新薬工業(株)<br>アステラス製薬(株)<br>☎ 0985-61-1537<br>後援<br>NPO 法人消化器・血<br>液・腫瘍研究会 | 1      | 15<br>21                     |
| 第 25 回宮崎リウマ<br>チ医の会<br>7 月 12 日(土)<br>15 00~ 18 10<br>M R T m i c c                          | 関節リウマチ病態形成因子とその制御による治療の<br>可能性<br>兵庫医科大学内科学リウマチ・膠原病科主任<br>教授 佐野 統<br>リウマチ手病変の治療 ; Up to Date<br>南川整形外科院長 南川 義隆<br>他 1 | 共催<br>宮崎リウマチ医の会<br>旭化成ファーマ(株)<br>☎ 0985-28-2736                                             | 3      | 2<br>5<br>6<br>8<br>28<br>61 |
| 平成 26 年度宮崎<br>県外科医会・県整<br>形外科医会・県医<br>師会労災部会合同<br>学会<br>7 月 12 日(土)<br>17 00~ 18 00<br>県医師会館 | 病院前救急診療とドクターヘリ<br>宮崎大学医学部救急・災害医学分野<br>救命救急センター教授 落合 秀信                                                                | 共催<br>宮崎県外科医会<br>宮崎県整形外科医会<br>宮崎県医師会労災部会<br>☎ 0985-22-5118                                  | 1      | 1<br>13                      |
| 西臼杵地区学術<br>講演会<br>7 月 1 日(木)<br>19 15~ 20 15<br>ホテル高千穂                                       | 今日からわかる！パーキンソン病診断から治療まで<br>の最新の話題<br>国立病院機構熊本南病院<br>神経難病センター神経内科医長 栗崎 玲一                                              | 共催<br>西臼杵郡医師会<br>☎ 0982-73-2010<br>延岡市西臼杵郡薬剤師会<br>大日本住友製薬(株)                                | 1      | 13<br>73                     |

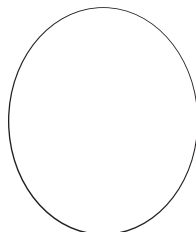
| 名称・日時・場所                                                             | 演 題                                                                                                                                       | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                              | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん       |
|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|--------|---------------------|
| 第 74回 宮崎大学<br>眼科研究会<br>7 月 19日(土)<br>17 00~ 19 00<br>宮崎観光ホテル         | 症例から学ぶ緑内障薬物療法の考え方<br>日本大学医学部視覚科学系眼科学分野<br>准教授 山崎 芳夫<br>他 1                                                                                | 主催<br>宮崎大学医学部眼科学教室<br>☎ 0985-85-2806             | 2      | 36                  |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7 月 27日(日)<br>10 00~ 12 00<br>宮崎大学医学部 302<br>講義室 | (5)健康保持増進<br>産業現場に必要な禁煙支援の基礎知識<br>職場での禁煙支援のエビデンス<br>野田小児科医院長 野田 隆<br>(5)健康保持増進<br>産業現場に必要な禁煙支援の基礎知識<br>職場で禁煙を推進するポイント<br>禁煙マラソン事務局長 三浦 秀史 | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118 | 2      | 5<br>11<br>12<br>82 |

## 日本医師会生涯教育カリキュラム ( 2009 )

カリキュラムコード( 略称 CC )

|                       |                   |                        |
|-----------------------|-------------------|------------------------|
| 1 専門職としての使命感          | 29 認知能の障害         | 57 外傷                  |
| 2 継続的な学習と臨床能力の保持      | 30 頭痛             | 58 褥瘡                  |
| 3 公平・公正な医療            | 31 めまい            | 59 背部痛                 |
| 4 医療倫理                | 32 意識障害           | 60 腰痛                  |
| 5 医師 - 患者関係とコミュニケーション | 33 失神             | 61 関節痛                 |
| 6 心理社会的アプローチ          | 34 言語障害           | 62 歩行障害                |
| 7 医療制度と法律             | 35 けいれん発作         | 63 四肢のしびれ              |
| 8 医療の質と安全             | 36 視力障害, 視野狭窄     | 64 肉眼的血尿               |
| 9 医療情報                | 37 目の充血           | 65 排尿障害 ( 尿失禁・排尿困難 )   |
| 10 チーム医療              | 38 聴覚障害           | 66 乏尿・尿閉               |
| 11 予防活動               | 39 鼻漏・鼻閉          | 67 多尿                  |
| 12 保健活動               | 40 鼻出血            | 68 精神科領域の救急            |
| 13 地域医療               | 41 嘔声             | 69 不安                  |
| 14 医療と福祉の連携           | 42 胸痛             | 70 気分の障害 ( うつ )        |
| 15 臨床問題解決のプロセス        | 43 動悸             | 71 流・早産および満期産          |
| 16 ショック               | 44 心肺停止           | 72 成長・発達の障害            |
| 17 急性中毒               | 45 呼吸困難           | 73 慢性疾患・複合疾患の管理        |
| 18 全身倦怠感              | 46 咳・痰            | 74 高血圧症                |
| 19 身体機能の低下            | 47 誤嚥             | 75 脂質異常症               |
| 20 不眠                 | 48 誤飲             | 76 糖尿病                 |
| 21 食欲不振               | 49 嚥下困難           | 77 骨粗鬆症                |
| 22 体重減少・るい瘦           | 50 吐血・下血          | 78 脳血管障害後遺症            |
| 23 体重増加・肥満            | 51 嘔気・嘔吐          | 79 気管支喘息               |
| 24 浮腫                 | 52 胸やけ            | 80 在宅医療                |
| 25 リンパ節腫脹             | 53 腹痛             | 81 終末期のケア              |
| 26 発疹                 | 54 便秘異常 ( 下痢・便秘 ) | 82 生活習慣                |
| 27 黄疸                 | 55 肛門・会陰部痛        | 83 相補・代替医療 ( 漢方医療を含む ) |
| 28 発熱                 | 56 熱傷             | 84 その他                 |

## 診療メモ

がんの周術期の口腔機能管理における  
医科歯科連携について宮崎県歯科医師会 地域保健担当 にしき い ひで つぐ  
錦 井 英 資

はじめに

がんの治療は日々進歩を続けており、現在のがん治療においては、治療効果に加えてより安全であること、苦痛をできるだけ緩和し、治療中から治療後も含めて患者のQOLを可能な限り良好に保つことも必要になってきています。

宮崎県歯科医師会でも、このような状況に対応できるように取り組みを行っていますので、その内容について説明します。

口腔機能管理の目的

がん治療においては、様々な合併症があります。手術後の肺炎や、化学療法や放射線治療に伴う口腔粘膜炎症などです。このような合併症のため、患者によっては食事がとれなかったり、

がん治療に伴う合併症に悩むことになります。

口腔ケアを含む口腔機能管理を行うことにより、これらの症状の改善がみられます。口腔内の合併症で苦しむことなく、よりよい生活を送れることが目的です。

口腔機能管理の方法

実際の口腔機能管理としては、口腔内の診察を行った後、セルフケアの指導と同時に手術前に専門的な器具を使い口腔内清掃を行い、手術に備えます。場合によっては、抜歯などの歯科処置を行うこともあります。また、術後は往診などで対応し、退院された後もフォローを行います(図1)。

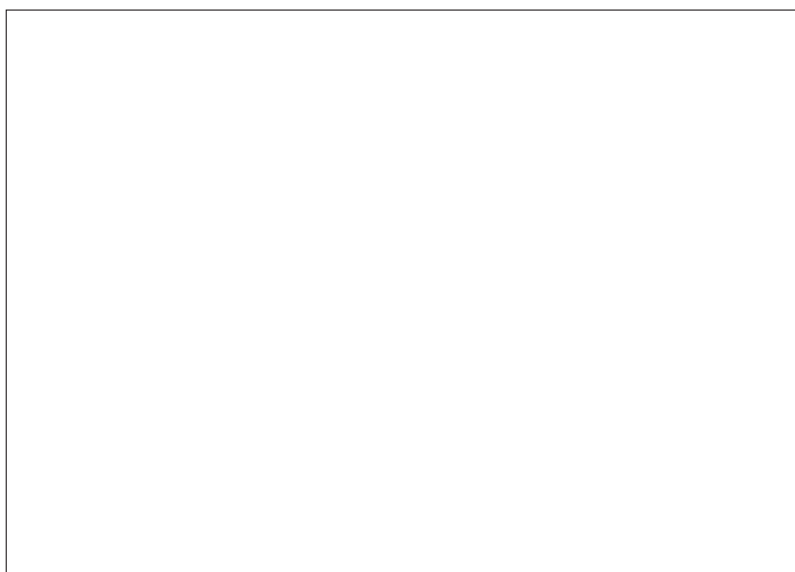


図1 術後肺炎予防の口腔ケアの例

### 口腔機能管理の効果

図 2 は千葉大学医学部附属病院の報告ですが、グラフの左は従来の方法で、グラフの右は歯科医師により診察・計画され、歯科医師・歯科衛生士により実施された専門的な口腔機能の管理を受けた群です。いずれの診療科でも、約 10%以上の在院日数の削減効果が認められています。また、血液内科でも、治療中にかなり重篤な口腔粘膜炎が発症、それに伴い食事摂取が十分にできず治療が滞るケースでも、ある程度抑制効果が可能なようです。このように外科手術だけではなく、全身的に負担の大きい治療に際しても効果がある結果がでています。また、口腔機能管理を行っている方が、術後の抗菌剤の投与量が約 4 割程度減少し、医療費の抑制にも効果があるとのデータもあります。これらの効果に関しては、口腔機能の管理を行うことにより病原性の細菌の検出率が大幅に下がった報告があることから、口腔管理が口腔内常在菌の細菌叢を正常に保つ働きをしているのではないかと言われています。

### 宮崎県歯科医師会における取り組み

全国共通がん医科歯科連携講習会テキストを使用し、歯科医師・歯科衛生士などに、がん医療に関する研修を行い、歯科側の連携の質を確保するようにしています。この内容は、がん治療や口腔ケアの知識だけではなく、緩和ケアやコミュニケーションなど多岐にわたるもので、約 5 時間半にわたる DVD です。現在、県内で約 150 名程度がこの研修会を受講して連携協力歯科医院として登録、医科からの紹介に対応できるようにしています(図 3)。また、医科の病院からの紹介状やポスターに関しても準備しており、この取り組みに協力していただける病院、診療所等がありましたら、医療連携病院の登録届書を出していただけると、上記の必要書類を送るシステムを取っています。

ちなみに、現在すでにこの医科歯科連携に関して合意し、実際に運用されている県内の病院もあります。

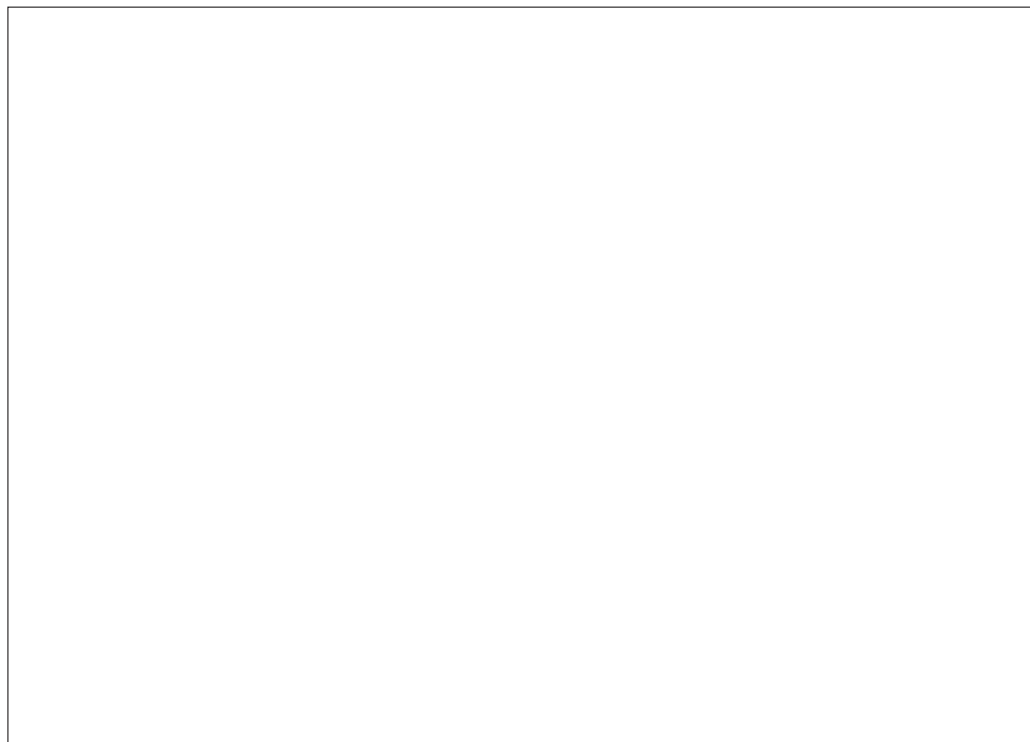


図 2 口腔機能の管理による在院日数に対する削減効果

## まとめ

「がんの周術期の口腔機能管理における医科歯科連携」についての宮崎県歯科医師会の取組みについて説明しました。折りしも平成 26 年 4 月からの診療報酬改定により、医科からの紹介については情報提供料( 250 点 )の他に歯科医療機関連携

加算( 100 点 )が加わりました。

このような宮崎県歯科医師会の「がんの周術期の口腔機能管理における医科歯科連携」にご理解、ご協力いただけると幸いです。もし、関心のある医療機関がありましたら、宮崎県歯科医師会( 0985-29-0055 )まで連絡ください。



図 3 連携歯科医院のマップ 延岡の例

## お知らせ

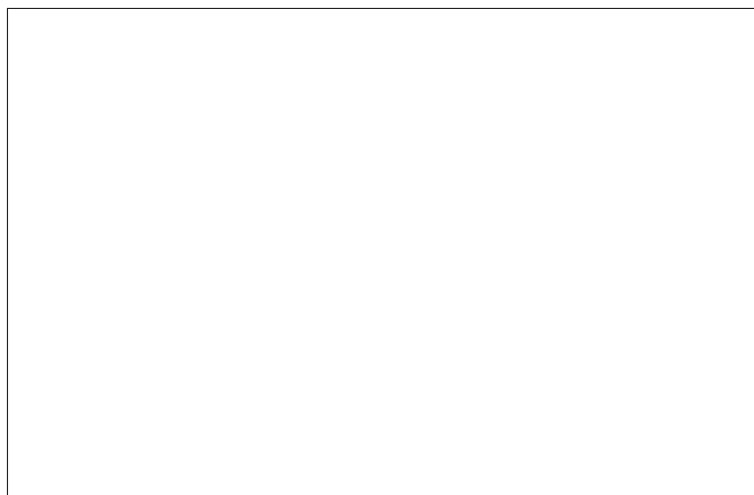
## 第 15回 宮崎県医師会

a ~ | p W i W!

「優秀な作品を一同に展示し、作品を通じて交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」を目標に、平成 12年から始まった宮崎県医師会医家芸術展は、本年度で第 15回を開催する運びとなりました。

おかげさまで、昨年は 46名の方々から 111点のご応募をいただきました。各作品部門におきまして充実した作品が揃い、素晴らしい展覧会となりました。また、入場者は 6 日間で 2,416人と過去最高となり、年々県民の間にも浸透しつつあるようです。

今年も県立美術館県民ギャラリーにて開催します。下記要領にて作品を募集しますので、会員及びご家族のご出展を心よりお待ちしております。



( 前回会場風景 )

展示期間 平成 26年 8 月 12日(火) ~ 17日(日) ( 6 日間 )

場 所 宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー 1・2

応募作品 絵画、写真、書道

応募資格 宮崎県医師会会員及び家族(高校生以上)

応募方法 出品希望の方は応募用紙を送付しますので、下記までご連絡ください。出品者名、出品部門、作品の点数・大きさ等必要事項をご記入いただきます。

作品の搬入出につきましては、各自の責任のもとでお願いいたします。

来場者が作品を撮影することがありますので、ご了承ください。

応募締切 6 月 27日(金) 締切を延長しました。

応 募 先 宮崎県医師会 学術広報課

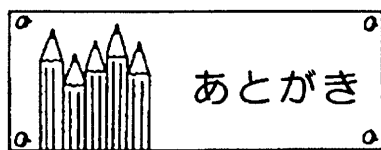
TEL 0985-22-5118・FAX 0985-27-6550

## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA 通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会地域医療課までご連絡ください。(TEL 0985-22-5118)

| 送付日      | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 月 20 日 | ・【重要】セブリオン水懸筋注シリンジの使用について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 4 月 21 日 | ・社会医療法人の認定の取消しに係る取扱いについて<br>・薬剤師法施行規則の一部を改正する省令の施行について<br>・医療用医薬品購入の取引がある医薬品卸売販売業者に関する相談窓口の設置等について                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4 月 22 日 | ・医療事故情報収集等事業「医療安全情報№ 89」の提供について(通知)<br>・精神保健福祉に係る各種事業の実施について<br>・障害年金の額(障害等級)の改定に係る請求時期の改正について<br>・麻しん患者の増加について<br>・ポリオワクチンに関する Q & A の改訂について<br>・平成 26 年度労災診療費算定基準の一部改定に伴う自賠責保険診療費算定基準(自賠責新基準)の取扱いについて                                                                                                                                                                                                         |
| 4 月 24 日 | ・国民健康保険被保険者証の無効について<br>・ポリオ生ワクチン 2 次感染対策事業実施細則の一部改正について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 4 月 25 日 | ・検体測定室に関するガイドライン等について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 4 月 30 日 | ・「健康づくりのための睡眠指針 2014」の送付について<br>・消費税率の引上げ等に伴う特定保健指導費用の取扱いに関する Q & A の改訂について(改訂 2 版)<br>・健康増進事業実施要領の一部改正について<br>・平成 26 年度働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業の実施について<br>・平成 26 年度がん検診推進事業の実施について<br>・(記者発表)県全域での風しん抗体検査について<br>・ポリオワクチンに関する Q & A の改訂について<br>・精神医療審査会委員等研修事業の実施について<br>・結核院内(施設内)感染対策の手引きについて<br>・「平成 25 年度介護報酬改定検証・研究調査の結果概要について(情報提供)」の送付について<br>・平成 26 年度認知症ケア研修会～認知症短期集中リハビリテーション研修(医師対象)～【東日本会場】のご案内(情報提供) |

| 送付日     | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 月 7 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> <li>・義肢等補装具費支給要綱の一部改正について</li> <li>・平成 26年度診療報酬改定関連通知の一部訂正について及び厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その5)」の送付について</li> <li>・鳥インフルエンザ(H7N9)を指定感染症として定める等の政令の一部を改正する政令等の一部を改正する省令の施行について(施行通知)</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について(一部改正)</li> </ul>                                  |
| 5 月 8 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎県特定健診・特定保健指導に関する実践者育成研修会の開催について(依頼)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 5 月 9 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険被保険者証の無効について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 5 月 10日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26年度全国安全週間の実施に伴う協力依頼について</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について</li> <li>・熊本における高病原性鳥インフルエンザウイルスのN亜型確定について</li> <li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li> <li>・鳥インフルエンザ(H7N9)を指定感染症として定める等の政令の一部を改正する政令等の一部を改正する省令の施行について</li> <li>・梅毒の発生動向について</li> </ul>                                          |
| 5 月 12日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26年経済センサス基礎調査の実施について(依頼)</li> <li>・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その6)」の送付について</li> <li>・使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                   |
| 5 月 13日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26年度耐震対策緊急促進事業について</li> <li>・手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果の説明について</li> <li>・厚生労働省「公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター共催平成 26年度「がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会」の開催について</li> <li>・地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律案について</li> <li>・麻しんの疫学情報の報告等について</li> <li>・第2期全国医療費適正化計画について</li> <li>・学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令の施行について(周知依頼)</li> </ul> |
| 5 月 14日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・後発医薬品品質情報の送付について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 5 月 16日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日医医賠責保健制度運営に関する変更(連絡および依頼)</li> <li>・公害医療機関の診療報酬の請求に関する省令の一部改正等について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                        |
| 5 月 20日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う精神科病院の管理者による地域援助事業者の紹介について」の送付について</li> <li>・「生活保護法の一部改正に伴う指定介護機関の指定事務に係る協力について(依頼)」の送付について</li> <li>・平成 26年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について</li> <li>・中東呼吸器症候群(MERS)に関する対応について(協力依頼)</li> <li>・糖尿病性腎症患者の重症化予防事業の取扱いについて</li> <li>・医師国家試験問題の公募についてご協力をお願い</li> </ul>                      |



## あとがき

「遠くとも一度は詣れ善光寺」先日、初めて長野へ行く機会に恵まれ、善光寺を参拝することができた。

「ゆくとしくるとしの除夜の鐘」程度の知識しかなかった私は、駅から善光寺へ向かうタクシーの中、運転手さんのレクチャーを受けることになった。善光寺は無宗派の単立寺院であり、つまり誰でも救ってくれる仏様ということであくさんの信仰を集めたということ、現在は山内にある天台宗の「大勧進」と2院、浄土宗の

「大本願」と14坊によって護持・運営されており、お朝事はそれぞれの宗派の法要が1回ずつ時間を変えて勤められているとのこと。そして、私の故郷である淡路島にもあり日本国中に建立されている善光寺だが、残念な事に、宮崎にはないということを知った。セミナーの懇親会で眼科医であれば善光寺のお戒壇巡りをぜひ体験するようすすめられた。床下におり真っ暗闇の中、秘仏の御本尊様の下を巡って、仏様の分身ともいえる錠前に触れると、それが仏様と縁を結び極楽往生のお約束をいただけるというものだが、想像以上の真っ暗闇であり、恐怖を感じた。「失明」というものを、ほんの少しの時間感じたような気がした。今後の診療に意味のある体験ができ、まさに牛に引かれて善光寺参りだった。

さて、広報委員も2期目になりこのたび副委員長の任を引き受けさせていただくことになりました。上野委員長の下、ひきつづき有用な情報を盛り込んだ日州醫事を提供できるよう努めさせていただきます。こびつとがんばります。

(沖田)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

風も草花も林も森も空も海も山も輝き薫る5月の宮崎。皆様いかがお過ごしでしょうか？恥ずかしながら私は“さどわら茄子”の存在を今年初めて知りまして、生のその美味さにびっくりしました。西都Aコープで5～6年ぶりに買って食べた3,000円の完熟マンゴーも美味かったです。あとはスイートコーンが残ってます。5月初めに西都Aコープへ買いに行ったのですが、今年は出荷が遅れ5月中旬から販売されるとのこと。そろそろ並んでいるかしら？おいしい宮崎バンザイ。

(釜付)

＊ ＊ ＊

深海魚が次々と水揚げされるこの頃、「世界のどこでも生き残る 完全サバイバル術 自分を守る・家族を守る」(ナショナル ジオグラフィック)という本を購入しました。全面カラーで、生き残るためのメンタルの持ち方からコンパスの作り方、流砂からの脱出法やサメの撃退法、鏡を使っの救難信号の出し方など、ボーイスカウトやガールスカウトにでも入った経験がなければ全く知らないことばかり。とってもおすすめです！

(大野)

＊ ＊ ＊

日州医事の他にも毎月いろいろなものが届きます。自分で購入している数種の医学雑誌、学会誌。なぜ届くのかよくわからない商業系の医学雑誌。医療機器の案内はまだしも、マンション、保険、外国債買いませんかの案内。日州医事もそれに紛れて今まではばらばらと読む程度でした。広報委員としてじっくり読んでみるといろいろ大切なことが書いてあることに気がきました。新広報委員の西田です。これからどうぞよろしくお願いいたします。

(西田)

＊ ＊ ＊

今月号より広報委員を務めさせていただきます。生目台で整形外科有床診療所を父と一緒にやっております。自院の紙カルテに、漢字が思い出せずカタカナを連発するような国語力ではありますが、医師会になんらかの形でお役に立ちたいと思っていましたので、頑張らせていただきます。趣味は、最近果

樹栽培に目覚め、40本以上の果樹を植えています。よろしくお願いいたします。

(岡本)

＊ ＊ ＊

この広報誌が皆様の手に届く頃には、もう梅雨になっている頃でしょうか。雨がずっと何かと生活が不便になり気が滅入りますが、「雨音」は良いものです。雨音にはリラクゼーション効果があるそうで、listen to jazz and rainというサイトでは雨の音とともにジャズを聴くことができます、多くの方が利用されています。部屋の外から本物の雨音が聞こえる時期ではありますが、興味のある方は上記のサイトにアクセスしてお聞きになってみてください。

(川上)

＊ ＊ ＊

今年度より2年間、広報委員を務めさせていただきます、宮崎大学医学部医学科学学生の枝元と申します。

出身は宮崎で、関東の大学を卒業後、製造業に勤務していましたが、医学の道を志しまして、故郷に戻って参りました。将来は、医師として宮崎の医療に貢献させていただきたいと考えております。

この広報委員の仕事を通して、今までとは違った見方から、医療や社会について考えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(枝元)

＊ ＊ ＊

ここ数年、看護学科学生の授業に医学をテーマとした動画コンテンツ作成を取り入れています。自分たちで撮影した映像に自作のアニメーションや解説を加え、タイトル・キャプション・エンドロール、そして、著作権フリーのBGMやナレーションも加えて編集し、作品を仕上げていきます。将来、患者さん向けの教育ビデオ作成に役立ちますよとの説明に反応はイマイチでしたが、将来、結婚式で上映するビデオ作成に役立ちます！と言い換えると、途端に目を輝かす乙女たちでした。

(荒木)

＊ ＊ ＊

## 今 月 の ト ピ ッ ク ス

### 会長のページ 会長退任のご挨拶

6月21日をもって、稲倉正孝先生が宮崎県医師会会長を退任されます。秦喜八郎前医師会会長のもとで10年間の常任理事、平成20年に会長に就任されて6年3か月と、16年あまりの長きにわたり、県医師会を牽引してこられました。毎月、最新の医療テーマを取り上げて執筆された稲倉会長の「会長のページ」も今号で最後です。限られたスペースでは語り尽くせない想いもあることと存じます。本当にお疲れさまでした。

3 ページ

### 日州医談 平成 26年度診療報酬改定について

今年度の診療報酬改定は、2025年度問題(超高齢者社会問題)に向けての医療大改編の第一歩と位置づけられており、これまでの改定とは一線を画するもののようです。単に診療報酬を上げる・下げるの問題ではなく、入院医療では、7:1看護病棟の大幅な病床削減が謳われ、また医療・介護を問わず、あらゆる場面から在宅医療を目指す取組みが求められているようです。消費税増税も重なり、プラスなのかマイナスなのか複雑な様相ですが、目の前の経営ばかりに一喜一憂はしてられないようです。河野雅行副会長に医師会の立場から解説していただきました。

4 ページ

### お知らせ 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

お気づきでしょうか。4月号から、日州医事へのご意見・ご感想を気軽にお寄せいただけるように、切り取り可能な原稿用紙(FAX用)をつけております。日州医事は会員の皆様と双方向性を持った情報誌を目指しております。記事に関すること以外でも、身近で起こったちょっとしたエピソードなど、皆様からのお便りをお待ちしております。

47ページ

### 診療メモ がんの周術期の口腔機能管理における医科歯科連携について

がん治療においては、口腔機能に関わる様々な合併症が、患者のQOLに無視できない影響を与えているようです。歯科医師などによる専門的な口腔機能の管理は、術後肺炎を予防するだけでなく、様々な疾患で在院日数の削減効果があるようです。宮崎県歯科医師会の錦井英資氏に宮崎における取組みをご紹介していただきました。

64ページ

日 州 医 事 第 778号 (平成 26年 6 月号) (毎月 1 回 10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101番地 0985-22-5118(代) FAX 27-6550

<http://www.iyazakim.ed.or.jp/> E-mail: office@i.yazakim.ed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 上野 満・副 委 員 長 釜付 弘志、沖田 和久

委 員 篠原 立大、上園 繁弘、原尾 拓朗、上條 苑子

大野 妙子、西田 隆昭、岡本健太郎、川上 勲、枝元 真人

担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 青木 洋子、荒木 早苗

事 務 局 学術広報課 瀬戸山千春、久永 夏樹

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)